

# 駒沢オリンピック公園総合運動場

## 指定管理者審査 提案書類（事業計画書）

団体名 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

---

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-29-9日本パーティビル  
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団内

---

代表者名 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団  
理事長 中嶋 正宏

---

## 事業計画書様式一覧

提 案 課 題			ページ		
1 事業計画書	提案課題 1	管理運営の基本方針	1		
	提案課題 2 施設の提供、運営に関する業務	1 施設の提供	(1) 施設提供の実施方針	4	
			(2) 休館日及び開場時間	7	
			(3) 利用の調整	8	
			(4) 利用料金	9	
			(別紙) 利用料金表		
		2 施設の運営	(1) トレーニングルーム運営業務	11	
			(2) 東京オリンピックメモリアルギャラリー運営業務	12	
			3 施設内サービス	(1) 受付案内	13
		(2) 苦情・要望等に対する対応等		14	
		(3) 駒沢オリンピック公園との連携協力		15	
	提案課題 3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務	1 事業の提供	(1) スポーツ振興事業 (別表) 事業実施計画	16	
			(2) スポーツの日記念事業 (別表) 事業実施計画	18	
			(3) 自主事業 (別表) 事業実施計画	19	
			(4) 周辺連携事業 (別表) 事業実施計画	21	
			(5) 利用者に対するサービス提供事業 (別表) 事業実施計画	22	
		2 施設の事業を支える仕組み	(1) 広報	24	
			(2) 業務の品質管理	25	
		3 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組		26	
		提案課題 4 組織及び人材	1 効果的かつ効率的な組織体制の確保 (別表) 各部門の所要人員		28
			2 明確な責任体制の構築		30
	3 適切な勤務体制等			31	
	4 人材育成の取組			32	
	提案課題 5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務	1 施設、附属設備及び物品の維持管理	(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理	34	
			(2) 施設の修繕	36	
		2 その他管理運営に関する事項	(1) 危機管理及び災害対応	38	
(2) 地球環境への配慮			39		
(3) 個人情報の保護			40		
(4) 感染拡大防止	41				
提案課題 6 収支計画		42			
(別表) 指定管理期間中の収支計画					
(別紙1) 収支計画の積算内訳					
(別紙2) ⑤委託費(維持管理費等)の積算内訳					

※ 様式に記載しきれない場合は、同様の書式で別紙(A4)を作成してください。

## 緑豊かな公園に存する総合スポーツ施設の特長と2回の東京オリンピックのレガシーを最大限活用し、スポーツフィールド東京の一翼を担います

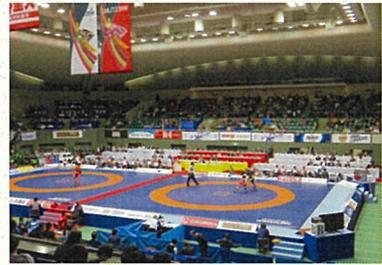
- 都内有数の総合スポーツ施設として、多種多様な競技・規模の大会等に積極的に提供し、都立18スポーツ施設のネットワークにおける駒沢の存在価値を高めます
- 都民に身近な公園内にある施設というメリットを生かし、公園・地域との連携の下、訪れる誰もがスポーツに親しめる場としてその魅力向上に努めます
- 4期17年の運営実績・経験を生かし、都の施策を踏まえた多様な事業を展開します



### 基本方針

#### 1 総合スポーツ施設としてのポテンシャルを最大限に発揮し、多様なニーズに対応

- ・ 全国高等学校サッカー選手権大会やボルダリングジャパンカップなど、全国レベルの大規模大会の場として積極的に提供し、選手たちが憧れる「アマチュアスポーツの聖地」として、都民に夢と感動を与える施設を目指します。
- ・ 屋内外の複数施設を有し、あらゆる種目に対応できる総合スポーツ施設としての特長を最大限に活用し、多様な種目や規模の大会等に対し、複数施設の同時使用も想定した利用調整を行います。また、複数会場で実施される大規模大会の同時開催会場として提供する等、都立18スポーツ施設（以下「18施設」という。）のネットワークのニーズ対応力の強化及び一体的取組によるスポーツ振興に貢献します。
- ・ 1964 東京大会のレガシー施設としてのプレゼンスを発揮しつつ、施設提供や展示、各種事業でのスポーツの実践を通じて東京2020大会のレガシーを未来に継承していきます。



#### 2 公園との連携により誰もがスポーツに親しみ、健康増進に取り組める場を創出

- ・ 都民にとって身近な憩いの場である公園内にあるスポーツ施設としての特長を生かし、公園管理者との連携を軸に、スポーツ関係団体、地区商店街、大学等と連携協力することにより、誰もがスポーツに親しめる「都民スポーツの聖地」として賑わいのあるスポーツ空間を形成します。
- ・ レクリエーション団体と連携して、誰もが参加しやすいニュースポーツ体験の機会提供や、働き盛り世代へのスポーツ参加の支援など、テーマやターゲットを明確にした事業を展開し、心と体の健康増進とスポーツ実施率向上に貢献します。
- ・ 共生社会の実現に向け、障害者や外国人など様々な方がスポーツを楽しめる施設として施設改善を進めるとともに、パラスポーツの普及のため、他施設との用具の共有等、きめの細かい対応をしていきます。
- ・ スポーツ案内ポータルサイトや予約システムを管理運営してきた当グループの代表団体のポテンシャルを生かし、都民に対するコンシェルジュの役割を担うなど、誰もがいつでもどこでもスポーツを楽しめる機会の拡大に寄与します。



#### 3 知識・経験を生かし、より安全・安心・快適な利用を実現

- ・ 施設利用者に安全・安心・快適にご利用いただくことが最も重要です。老朽化した施設・設備などで事故につながる事象を細部まで点検するとともに、競技等のルールや用具の使用形態、芝の管理に精通した各部門の専門家が、トラブルを最小限に抑えるための予防・事前措置をきめ細かく実施していきます。
- ・ 各部門責任者等の「安全・点検パトロール」を通して、問題箇所の早期発見、即時対応を実施し、快適な利用を実現します。
- ・ 本施設の建物と機械・電気設備に精通した専門家集団にのみ可能な緊急修繕を行う他、長期的視点に立った計画的な施設維持管理を実施し、建物のライフサイクルコストを削減します。
- ・ 事業のリモート実施への対応や施設での万全な感染症対策の実施など、「新しい日常」下で、変化に柔軟に対応し、都民が安心して快適にスポーツを実施できる環境を整備します。



事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

**運営方針**

**① 都立スポーツ施設としての経験・実績に裏付けられた公平な利用調整**

- ・本施設は、毎年多くの利用希望があります。これまで蓄積してきた**ノウハウと経験、利用団体との信頼関係**を活かし、公平性の観点から、大規模大会を効率的に配置し、一般団体の利用を十分に確保していきます。利用希望が重複する場合には、本施設内での代替実施に向け調整を行います。
- ・他の都立施設への用具貸出や、都立施設を複数利用して開催される大規模大会への提供など、**18 施設の連携を最大限活用した利用調整**を行い、総合スポーツ施設として都立スポーツ施設ネットワークの**ニーズ対応力の強化及び一体的取組によるスポーツ振興に貢献**します。

**② 東京都が推進する施策との連携・協力**

- ・東京都スポーツ推進総合計画、「未来の東京」戦略、TOKYO スポーツレガシービジョンを踏まえ、政策連携団体である当グループの代表団体が中心となり**都施策に沿った管理運営**を実施することにより、スポーツ実施率 70%を達成し、「スポーツ都市東京」の実現に寄与します。
- ・**女子ソフトボールワールドカップ**等の大規模な国際大会について**都の施策に積極的に協力**することで、都民がトップアスリートの活躍に触れ、スポーツの魅力を感じられる機会を提供していきます。
- ・本施設は東京都の「大規模救出救助活動拠点候補地」「一時滞在施設」等に指定されていることから、平時からマニュアルの充実等を進め、災害発生時には防災拠点としての役割を果たします。

**③ 2大会のレガシー活用とスポーツを身近にする場の確保**

- ・東京 2020 大会のレガシーとして大会を機に盛り上がったスポーツへの関心を将来に継承していくため、これまでの運営ノウハウを生かし、競技団体とも連携して、誰もが気軽にスポーツを楽しめる施設提供や各種事業の展開などにより、**都民の「する・みる・支える」につなげていきます**。
- ・1964 東京大会のレガシー施設として、東京オリンピックメモリアルギャラリーを中心に、**1964 東京大会と東京 2020 大会のアーカイブをつなぎ**、東京とオリンピック・パラリンピックとの関わりや競技・記録の変遷の歴史を伝え、スポーツ気運の盛り上がり未来に継承していきます。
- ・SNS の更なる活用や当グループのHP、スポーツポータルサイトとの連携強化により、複合的かつ戦略的な情報発信を行い、都民のスポーツ活動の水準向上を図ります。

**④ 公園や地域と連携した事業の展開**

- ・公園内にあるスポーツ施設として、公園との連携を軸に、周辺自治体、近隣大学、レクリエーション団体、商店街など、これまで培ってきたネットワークを生かし、近隣への呼びかけによる事業の参加率向上や**周辺連携事業を通じた地域の活性化**を図ります。

**⑤ PDCAサイクル等の活用によるサービス向上と効果的・効率的な施設運営**

- ・**DX推進**に向けキャッシュレス決済やアプリ、サイネージの活用等のほか、各種打合せのリモート実施やオンラインイベントの開催等、利用者ニーズや社会状況に応じてDXを活用した対応を行います。
- ・利用者からの要望に対し、**OODA ループ・PDCA サイクルの手法**を取り入れ、施設運営に確実に反映します。また、障害者利用に係る研修の受講など更なるユニバーサルな運営を実現していきます。
- ・予算の効率的な執行、収益の効果的な活用により、質の高い利用者サービス提供に努めます。

**⑥ 安全・安心な管理運営**

- ・**月 1 回の「安全・点検パトロール」**を通じて問題箇所を発見・対応するとともに、これまで他のスポーツ施設で起きた事故等も参考に、床のささくれチェックなど**きめの細かい点検作業**を実施し、早めの補修、部品交換等の対応を行います。
- ・駒沢は立地上、風水害リスクが高いことから、雨漏り確認、止水板の設置、融雪剤散布等の**水害・強風・雷・降雪対策を迅速かつ的確に実施**するとともに、メリケントキン草などの利用者の怪我につながる雑草の駆除等、安全・安心な施設環境の維持に努めます。

**⑦ 老朽化施設の長期的視点での保全**

- ・公益法人として、予算の効率的執行・収益の活用により、長期的な視野に立った保全のための修繕、臨時保守点検等をこれまで同様に実施していきます。
- ・令和 5 年度には体育館大規模改修、軟式野球場倉庫改築等の休館を伴う工事が予定されています。これら東京都施工の大規模改修工事に対して、競技団体の意見や周辺住民の声、また安全な施設利用の視点から意見交換し、必要な施設整備の提案を行うなど、**より良い施設改修に協力**します。

事業者・団体名

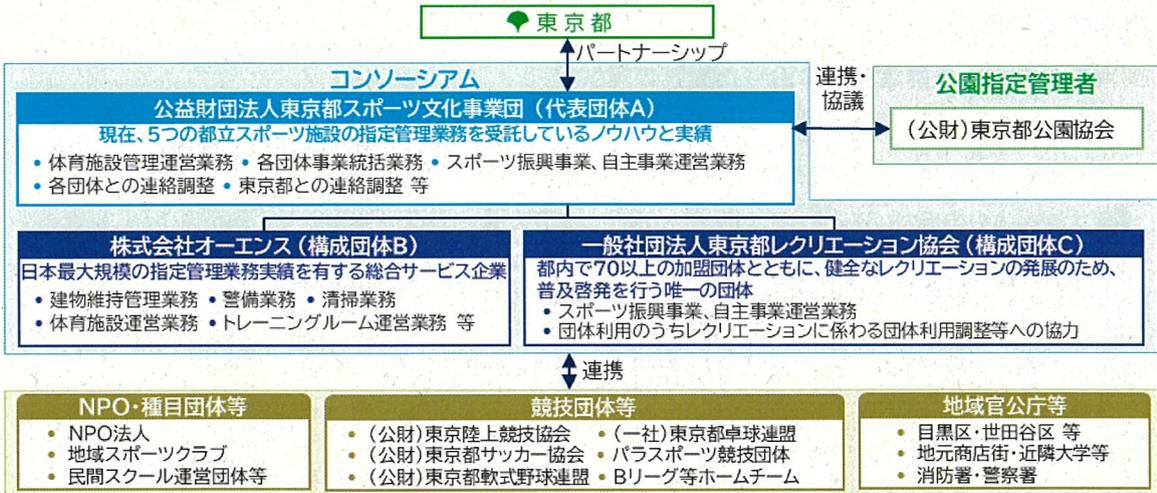
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題 1 管理運営の基本方針

業務全体にかかる履行体制

スポーツ施設の運営を熟知したコンソーシアムの結成

- 当グループの代表団体（以下「代表団体A」という。）は東京都の政策連携団体であり、都の政策に則った先駆的な事業展開や、緊急時等における都の方針の変更・依頼等に柔軟かつ的確に対応できる唯一無二の団体です。当グループは都立スポーツ施設の指定管理実績を有する代表団体Aの下、都内スポーツ施設の指定管理実績を数多く有し、当該施設の特殊設備や老朽化対策等を適切に管理可能な企業（以下「構成団体B」という。）、東京都のレクリエーションを統括する団体（以下「構成団体C」という。）の3者がコンソーシアムを結成し、質の高いサービスを提供します。



業務全体にかかる履行体制

公園協会との連携協力による質の高いサービス提供

- 平成18年度から平成25年度まで本施設と公園を一体的に管理した経験を基に、公園管理者との日々の情報共有を徹底し、利用者目線に立った質の高いサービスを実施します。
- 東京都の重要な防災拠点として、公園管理者とも連携した危機管理体制を構築します。
- 施設運営にあたっては、都立公園のルールを理解し、調整を図りつつ、景観に配慮した看板や案内板等の設置など、公園と調和した利用しやすい環境づくりを実施していきます。
- 公園所管の中央広場やSS広場を活用した共催事業の実施など、来園者がスポーツに親しみ、楽しめる場を連携して創出し、スポーツ公園としての賑わいと魅力を相乗効果で高めていきます。

政策連携団体である代表団体Aが中心となり18施設の連携を促進

- 都のスポーツ振興施策に精通し、管理運営のノウハウを有する代表団体Aが、18施設全体を先導する機能を発揮します。また各施設の施設管理者同士をつなぎ、一体的な取組に係る企画調整を行うとともに、競技団体や個人に対して、予約や施設利用に関する問合せ等にも対応するコンシェルジュ機能を担うことで、スポーツフィールド東京の実践に貢献します。

総合スポーツ施設である本施設は、他施設では実施が難しい競技の受入れや用具の貸出し、他施設の大規模大会の同時開催会場としての提供など、都立18スポーツ施設ネットワークの「ニーズ対応力の強化」「一体的取組によるスポーツ振興」の面で特に貢献

スポーツフィールド東京の実現に向けて

18のスポーツ施設の連携の中心を政策連携団体である代表団体Aが担う



事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(1) 施設提供の実施方針

**総合スポーツ施設として多様な提供を行い、「都民スポーツの聖地」を目指します**

- 「東京都スポーツ推進総合計画」「TOKYO スポーツレガシービジョン」を踏まえ、スポーツを「する」「みる」「支える」の3つの視点に基づいた施設提供を行います
- 上質かつ多様なスポーツ競技大会の開催を通じて、都民に夢と感動を与えます
- 都民にとって身近な公園にある施設というメリットを生かし、都民のスポーツ振興を推進します
- 全ての利用者が安全・安心・快適に利用できる施設環境と幅広いサポートを提供します



**基本的な方針**

**【東京都のスポーツ推進施策に沿った施設の提供】**

- ・ 「東京都スポーツ推進総合計画」「TOKYO スポーツレガシービジョン」、本施設の設置目的等を踏まえ、スポーツを「する」「みる」「支える」の3つの視点に基づき**総合スポーツ施設としてのポテンシャルを最大限活用**した施設の提供を行い、スポーツフィールド東京の実現に貢献します。

do

大規模大会のほか、アマチュアスポーツ大会やシニアスポーツ、スポーツ体験、トレーニングルーム、レクリエーションなど、多彩な種類の複数施設という特長を生かした施設提供を通じて、スポーツに取り組む都民への機会創出と裾野の拡大を図り、「都民スポーツの聖地」としてのステータス確立を目指します。

— 当グループによる施設提供 —

**する** 機会創出・裾野拡大

**みる** 東京の魅力創出

**支える** 安心・安全・快適

**スポーツフィールド  
東京の実現**

mi

全国高等学校サッカー選手権大会など国内外の様々なトップスポーツ大会を開催することで、上質なスポーツ観戦機会の拡大とともに、駒沢のプレゼンスの向上や地域の活性化につなげ、スポーツを通じた東京の魅力を創出します。

su

パラスポーツの大会を積極的に受け入れ、選手・関係者の動線等きめ細やかなサポート・調整を行い、共生社会への理解促進に貢献します。併せて設備・備品等の適切な保守・点検、きめ細やかな接遇により、安全で快適なスポーツ環境づくりに努めます。

- ・ スポーツ目的の提供の他、TV・YouTube等の撮影ロケ地としての施設提供や、近隣の警察・消防が実施する各種訓練への駐車場の貸出など、**ユニークベニュー**としての施設活用も推進します。

**施設ごとの方針**

**①陸上競技場**

- ・ 陸上第2種公認競技場であり、都内有数の質の高さを誇る天然芝を有する施設特性を踏まえ、パラ陸上記録会などパラスポーツを含む陸上競技の全都大会・地方大会や、サッカー・ラグビー等のボールゲームにおいて**最高のパフォーマンスを発揮できる場**として提供します。
- ・ 長年の維持管理の実績を基に、季節や生育状況に応じた芝刈込や補植作業等、専門性の高い日々のメンテナンス等により**天然芝の質の維持**と施設提供のバランスに配慮した調整を行います。
- ・ 大会等の利用がない日程はトレーニングルーム利用者にトラックを開放し、施設を有効活用します。

**②体育館、屋内球技場**

- ・ 1964 東京大会会場であった体育館・屋内球技場では、全日本選抜レスリング選手権大会をはじめとする**国際的・全国的・全都的な大会**への提供のほか、都民が利用しやすい立地・規模の屋内施設として各種運動会やスポーツ教室など多様な利用に提供し、選手憧れの施設というステータスと**地域スポーツの拠点**としての役割の両立を果たします。また、理容美容専門学校の技術コンテストや就職説明会等、**ユニークベニュー**としての利用も積極的に受け入れ、施設を有効活用します。
- ・ 令和5年度以降の体育館の大規模改修に当たっては、東京都との連携を密にし、競技団体の要望等の集約など、より良い改修となるよう全面的に協力します。また、改修工事に伴う休館期間中の利用希望に対しては、屋内球技場の代替調整や類似する他施設情報の提供等により対応します。

**③第一球技場**

- ・ 砂入り人工芝（ショートパイル）を有し、かつ1964 東京大会におけるホッケー競技会場というレガシー活用の視点から、ホッケー、ラクロス等の大会・練習等を中心に提供します。
- ・ 防矢ネットを有するため、アーチェリーの大会や練習等の利用にも提供するとともに、レクリエーションや会社行事での利用等、幅広い用途で施設を提供します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

④第二球技場、補助競技場

- 令和2・3年度に全面張替を実施したゴムチップ入り人工芝を有するJFA公認ロングパイル人工芝ピッチの施設であることを踏まえ、サッカーを中心にラグビー、アメリカンフットボールなどの球技系スポーツへの提供を行います。また、クッション性に優れた人工芝の安全性を生かし、幼稚園・小学・中学・高校の体育祭等でも利用できるよう、**地域のスポーツ活動の拠点**として施設を提供します。
- 補助競技場は、陸上競技場の利用を補完（ウォーミングアップ等）する場としても提供します。



各施設の特徴を把握した施設運営

⑤テニスコート

- 全天候型の砂入り人工芝8面の施設特性を踏まえ、テニス・ソフトテニスでの利用とします。施設提供に当たっては、愛好者グループ等の練習・試合と競技団体による大会利用のバランスを図り、テニス・ソフトテニスの普及振興を図るとともに、都民の健康増進に寄与できるよう調整します。

⑥硬式野球場

- 令和元年度の改修・増築により人工芝やスタンド席、ブルペン等が整備された施設の特徴を生かし、少年、高校、大学、社会人の硬式・軟式野球及びソフトボールの大会や練習等での利用を対象に、誰もが競技を楽しめる場として施設を提供します。

⑦軟式野球場

- 軟式野球場は、188m×66.8mの規模のグラウンドをA面、B面の区分利用とし、軟式野球・ソフトボールの利用に提供します。防球ネット等の施設状況を踏まえ、B面はソフトボールや少年野球専用とし、**周辺の安全性を考慮した利用方法**で施設を提供します。

⑧弓道場

- 弓道場は、弓道、アーチェリーの利用に提供し、近的場、遠的場の区分利用とします。大会利用や高校、大学等の稽古・練習等での利用のほか、団体利用がない場合は個人利用者に提供します。個人利用では、各競技の利用者が計画的に利用できるよう、施設の空きや利用可能競技の情報をHP等で随時提供し、**練習場の確保が難しいスポーツの普及・実践の場**として提供します。

競技大会等の成功に向けた「パートナー」としての運営サポート

- 当グループでは、単純に施設等の貸出しを行うだけではなく、施設や地域のプレゼンス向上につなげるべく、主催者と共に大会を盛り上げ、成功に導いていく「パートナー」として親身な対応を行います。
- パートナーとしての対応においては、競技大会等を成功に導くため、公園等との調整に係る豊富な知識や様々な大規模大会等のサポート経験を有するサービス業務担当者と施設及び設備業務担当者などの専任スタッフが対応し、**グループを挙げて、最大限サポート**します。
- 主催者の様々な要望に応えるため、疑問や不安が解消されるまで、会場の下見対応や綿密な打合せ機会の提供、必要に応じて代表団体Aが運営するスポーツ案内ポータルサイト「SPOPITA」を活用したVRによる施設案内やリモートによる打合せを実施します。
- 専任スタッフによる主催者との担当窓口を一本化することで、問合せや要望情報の一元化、迅速な対応等を可能とし、主催者との密な連携体制や高い信頼関係を構築します。
- 競技大会等の当日には、主催者と緊密な連携やコミュニケーションを図り、安全・安心・快適・円滑に運営できるよう全力でサポートします。



専任スタッフにより競技大会の成功をサポート

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

【利用当日までのフローとサポート概要】

1 利用相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用希望日・競技大会等内容・演出や展開など、利用に関する様々な相談に無料対応</li> <li>● 利用料金の概算の提示や施設見学など、主催者の要望に沿って個別に対応</li> </ul>
2 申込後の 団体対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 競技大会等内容に合わせた渉外担当窓口を選任し、密に連絡・連携が取れる窓口体制を構築</li> <li>● 本施設の管理運営経験を活用し、相談内容に応じた適切なアドバイスを実施</li> <li>● 動線や控室の利用方法、保有備品及び施設の説明など、細かな相談に応じた下打ち合わせや、施設・備品等の見学を実施</li> <li>● 各種動線及び警備計画、搬入出経路、安全対策等の利用詳細を事前に確認し、初めて利用する主催者でも安心して計画を進められるように各種法令に準じたアドバイスを実施</li> </ul>
3 事前打合せ (開催1カ月 から2週間前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 競技大会等の本番に向けて主催者及び設営業者など全ての関係者を交えて、利用内容の最終打合せや災害等・緊急時における対応方法の案内を実施</li> <li>● 公園協会と連携の上、公園内通行車両の搬入出計画へのアドバイスを実施</li> <li>● 照明・音響・電源や主催者による持込機器などテクニカル部分については、個別打合せも実施</li> <li>● 本施設の所轄消防署や警察署への必要書類の作成を支援</li> </ul>
4 現場 最終確認 (当日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 競技大会等を円滑に進めるため、施設担当者とは主催者との連絡・連携体制を再確認</li> <li>● 設営・本番・練習・リハーサル・撤去における現場での最終確認や各種法令を遵守した指摘やアドバイスを実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・床面や壁面の養生確認</li> <li>・吊物やステージ等仮設物の確認</li> <li>・来場者の屋内及び屋外の動線確認、物品販売等による周辺動線の確認</li> <li>・救急などの緊急時対応の確認</li> <li>・客席の設置、避難誘導経路の確認 等</li> </ul> </li> <li>● 所轄消防署等による禁止行為や避難経路など各種査察への対応</li> <li>● 当日における変更点などへの臨機応変な対応</li> </ul>

以下については、使用方法等を熟知した本施設担当者が実施又はサポートします

- ・バスケットゴールや防矢ネット、ラグビーゴールの設置
- ・電光得点盤、大型映像装置の操作方法サポート
- ・パトンの昇降操作の実施
- ・音響・放送設備の操作方法サポート

競技大会等運営における特殊な対応への各種アドバイスとサポート

(1)VIP（皇室・政府関係者・各国大使等）への対応

- ・公園内に施設が点在し、複数の公園出入口や人と車の動線等が複雑であるため、交通手段等を踏まえ、主催者に対して動線計画や警備計画、その他対応方法についてアドバイスを実施します。
- ・主催者・東京都各関係機関・所管する警察消防・公園等と連携を図り、必要に応じて警備強化のために一部施設の利用を停止するなど、万全な警備体制を構築します。
- ・主催者の要望に応じて、所長がVIPの誘導及び案内を担当します。

(2)競技大会等開催における近隣住民への対応

- ・各施設が住宅地に隣設しているため、声援や放送音等の音に関することや最寄り駅からの動線における近隣住民の方々の往来に関する、車の往来や駐車場への待機に関する等様々な問題について近隣住民に迷惑がかかるといけないような不断の対策が必要です。そのため、**警備担当が、駐車場及び道路交通状況を加味した誘導を行い、待機による影響を最小限に留めるよう努めています。**
- ・主催者に対して、所管する警察・消防・最寄り駅等との連携方法や、近隣住民・企業・病院等への事前説明会やチラシ配布など、円滑な大会運営のための情報提供とサポートを行います。

(3)パラ競技大会等開催への対応

- ・パラ陸上大会・ボッチャ大会等のパラスポーツ大会の開催においては、クラス分けに基づく選手動線や待機場所、安全な乗降に適した駐車場に関するアドバイスなどの特殊な対応が必要です。これらの対応について公園や関係団体との連携を密にするとともに、**これまでの大会開催実績に基づくノウハウを生かし、種目に関わらず選手や大会関係者が安心・安全に大会に臨めるよう手厚いサポートを行います。**



パラスポーツ大会の開催

(4)他施設での大会等開催への対応

- ・18施設のネットワークを生かし、他施設で競技備品が必要となった場合には、東京都等関係各所との調整を密に行い、安全性・確実性に配慮したうえで、**備品の貸出**を柔軟に行います。
- ・施設間において運営に隔たりが出ず、安定した大会開催につながるよう、設営・撤去に要した時間等、駒沢での開催実績がある大会に関する情報を積極的に提供します。
- ・多様な競技種目について、**複数会場で実施する大規模大会等の会場としての提供**を行います。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(2) 休館日及び開場時間

**利用者ニーズへの対応と適切な施設維持管理を両立させ、  
休館日・開場時間を弾力的に設定します**

- 条例を原則としながらも、大規模大会などの利用希望を踏まえて、柔軟に休館日を設定します
- 利用団体からの要望に基づき、専用使用施設の使用時間の繰上・延長、年末年始の開館にも柔軟に対応します
- 個人使用施設の開場時間の延長を継続します



1 休館日設定の考え方

**条例や利用者ニーズを踏まえた休館日の設定**

- ・原則として東京都体育施設条例施行規則に基づき休館日を設定します。
- ・専用使用施設では、大規模大会やイベント等の利用希望を総合的に勘案し、東京都と事前協議のうえで、柔軟な休館日スケジュールを設定していきます。
- ・施設設備の保守・点検、芝の保護・育成など、適切な維持管理に必要な休館日を確保しながらもメンテナンス日を少なくし、施設提供の幅を広げていきます。

**休館日の設定**

- 毎月第3月曜日(休日の場合はその翌日)を原則とし、利用希望の状況などにより設定
- 電気設備・空調機器等の保守・点検などメンテナンスに必要な休館を考慮して設定

**最小限の休館日で年末年始の開館等、多様な利用に対応**

- ・本施設では、長年にわたって年末年始に全国高等学校サッカー選手権大会が開催されています。
- ・その現状を踏まえ、年末年始に利用を希望する大規模大会の要望に応え、施設を提供することで、**都立スポーツ施設のプレゼンスを発揮**し、多様な施設活用を推進します。  
(令和3年度実績：12月29～31日、1月2日大会実施)
- ・施設の維持・管理を適切に行いながら、休館日を最小限に設定するなど、利用者ニーズに対応していきます。

**年末年始の休館日設定**

- 専用使用  
大規模大会の利用要望に応え柔軟に対応
- 個人使用  
12月31日～1月2日

2 利用時間設定の考え方

**利用時間の繰上・延長にも柔軟に対応**

- ・手の込んだ演出や多数の集客が見込まれる大規模大会や、感染症対策を含めた安全性を加味した会場設営・撤去作業を行うには、準備のための十分な時間が必要となります。そのような状況を鑑み、利用団体から施設利用時間の繰上・延長の要望があった際には、**近隣の住宅や医療施設への影響を考慮**のうえ、柔軟に対応していきます。
- ・大規模大会の際には、必要に応じて施設利用日の前日夜や、利用翌日の朝等の作業も可能とし、利用団体の負担が軽減されるよう対応していきます。
- ・トレーニングルームの開場時間については、「土日祝日の早朝から利用したい」という利用者の声や「ランニングステーション機能としても使いたい」という公園ジョギングコースのランナーの要望に応え、**土日祝日の開場時間の繰上を継続**して行います。また、会社・学校帰りの方が利用しやすいよう**平日の開場時間の延長**を行うなど、**利用者ニーズを的確に捉えた柔軟な対応**を引き続き行っていきます。
- ・弓道場の開場時間については、**専用使用に空きがある場合に個人使用として利用**できるよう、利用可能日時等をホームページに掲載するとともに、施設内に掲示することで周知していきます。

個人使用施設利用時間

トレーニングルーム	開場時間	弓道場	開場時間
平日	9:00～21:30	個人使用可能日	9:00～21:00
土・日曜日、祝日	7:30～21:00		

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(3) 利用の調整

**公平・公正な利用調整により、多様なスポーツ競技大会等に施設を提供し、一層のスポーツの普及振興に貢献します**

- より多くの大会等開催に向け、ノウハウと経験を生かした、きめ細やかな利用調整を実施します
- 利用者の利便性を考慮し、窓口での受付やインターネット申込等など、多様で簡便な手続きとします

1 使用申請から使用承認までの基本的考え方

**公平で簡便な使用申請、使用承認フロー**

- ・ 条例及び管理基準等に準じ、各利用団体へ適切に案内を行い、公平かつ公正な利用調整を遅滞なく確実に実施します。
- ・ 専用使用施設では、事業計画書や使用申込書等ははんこレス対応とします。電子データでの提出を受け付けることで、スムーズで快適な利用申請を提供するとともにペーパーレスを推進します。
- ・ 個人使用施設ではICプリペイドカード及び券売機による取扱いを基本とし、簡便な手続きとします。
- ・ 使用当日、紙またはWEB版体調管理チェックシートを提出いただきます。

優先受付

事前相談	●利用団体へ受付対象可否や開催時期など各種相談対応
事業計画書受付	●事業概要、規模、特殊事情等を把握 ●事業計画書ははんこレス対応とし、電子データにて受付(前年度6/30まで)
団体調整交渉	●施設の基本方針等を踏まえ、管理基準の他、ノウハウ等を生かした調整 ●各団体や他施設とのネットワークを駆使した団体交渉 ●グループ内で選定委員会を立ち上げ公平性、公共性等を判断し、承認
結果通知	●使用申込書及び減額免除申請書を受け、内容確認後、適切に処理
使用仮承認	●管理基準に従い予約システムで受付処理・仮承認を実施(前年度の9/30まで)

一般受付(希望月の6か月前の10日)

- 事前に空き状況を公開し、予約システムで先着順にて予約受付を実施●テニスコート・軟式野球場は利用日の2か月前の10日に機械抽選 ●利用者への利便性向上のため先着順の受付は現行日程での受付を継続

優先受付・一般受付承認フロー

2 専用使用における施設提供

**国際大会、全国大会、東京都大会等【優先受付】**

(1) 優先受付対象の基本的な考え方

- ・ 東京都体育施設条例施行規則及び管理基準に基づき、複合施設という施設の特性を最大限に活用した国際大会・全国大会・東京都大会などの大規模競技大会等を対象として実施します。

(2) 具体的な実施方法

- ・ 事業計画書には、大会規模、参加対象者、観客予定数などの大会概要とともに、利用日を**第3希望まで記入いただき**、希望を十分把握したうえで利用調整を行います。また、複数施設の併用希望や代替施設での実施可否など、より円滑な調整につながる情報を収集します。
- ・ 希望が重複した際は、管理基準に基づき決定するほか、第1希望以外の希望日での調整、施設の利用規模の調整、日程の短縮・移動など、様々な項目をもとに申込団体と調整や交渉を実施し、**団体の意向を尊重**しながら施設の有効活用を考慮したきめ細やかな利用調整を行います。

(3) 大会誘致の取組

- ・ 各スポーツ競技団体等とのコミュニケーションの中で、先を見据えた国際スケジュールや都内開催希望の相談があった際には、積極的にヒアリング及びアドバイスを行い、戦略的な大会誘致計画を展開することで、大規模大会の開催につなげ、施設のプレゼンスの向上に貢献します。
- ・ また、グループ内の**大規模大会誘致戦略チーム**を活用し、大会実施に向けた利用調整・情報収集を行います。

(4) 他施設との同時開催における調整

- ・ 東京体育館との同時開催となった「令和3年度 第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会」をはじめとする大規模な大会について、今後も**18施設のネットワークを生かし、施設間での事前の情報共有等の調整を図る**ことで、連携・協力体制を構築します。

**優先受付以外の受付【一般受付】**

- ・ 一般受付は、スポーツ団体や学校の運動部活動等の競技会、練習等のために利用する場合や学術・文化活動等で利用する場合を対象とします。
- ・ 「**東京都スポーツ施設予約システム**」を活用し、現行の使用申請・使用承認の方法を継続します。
- ・ 利用需要の高いテニスコートや軟式野球場の一般受付については、現行の「東京都スポーツ施設予約システム」の**機械抽選**を継続し、誰もが競技を楽しめるよう公平性を担保します。
- ・ 空き施設については、「東京都スポーツ施設予約システム」やホームページ等を通じて周知を図り、施設の有効活用を図っていきます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1 施設の提供

(4) 利用料金



事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題2〔施設の提供、運営に関する業務〕 1. 施設の提供

--	--

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ







(1) トレーニングルーム運営業務

都民の健康体づくりと競技スポーツのためのトレーニングをサポートします

- トレーニングの初心者から上級者、また障害の有無にかかわらず個々の目的や目標に即したトレーニングプログラムを提供します
- 多種多様なトレーニングプログラムで継続的かつ効果的にサポートします
- これまで培ってきた利用者対応、安全対策、指導理論と技術等のノウハウを生かし万全な運営体制を構築します



1 具体的な取組

利用者のトレーニングライフをサポート

- ・ トレーニング機器のスペックや配置台数に係る利用者の要望等を基に、令和4年度に**トレーニング機器(53種123台)**を更新し、デザインやスペック等、大変好評をいただいています。最新の機器を用いて、多様な利用者へのトレーニングサポートを継続して行います。

対象	サポート内容
初心者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重、体脂肪率等の計測や体力測定に基づく総合的なメニューの提案</li> <li>・ カウンセリング体制を整備し、個々の悩みや疑問などを解決</li> </ul>
経験者 上級者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動生理学や運動力学のエビデンスに基づいた、年代別・レベル別の多種多様なプログラムの提供</li> <li>・ 登録制「パーソナルトレーナー」制度の導入を検討</li> </ul>
障害者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者スポーツ指導員資格を保有するトレーナーを配置</li> <li>・ ポジショニング保持や姿勢支持、全盲の方へのマンツーマン指導、パラアスリートの競技力向上サポート等、障害の程度やトレーニングの目的等に応じた最大限の安心・安全を提供</li> </ul>



最新のトレーニング機器

スタジオプログラム等の更なる拡充・展開

- ・ トレーニングルーム内のスタジオで実施しているエアロビクスやヨガ等の「**スタジオプログラム**」については、利用者の要望に対応し、内容及び回数を拡充します。
- ・ トレーニングルーム利用者への**陸上競技場トラック開放**も継続し、施設の有効活用に努めます。
- ・ さらに、親子や働き盛り世代を対象としたプログラムを展開し、新規利用者の獲得につなげます。

利用者の利便性と衛生環境の確保に向けた取組

- ・ 利用者ニーズの高い**平日夜間延長と土日祝日の開場時間の繰り上げ**、公園ジョギングコースのランナーを対象とした**ランニングステーション機能の提供**については引き続き実施します。
- ・ ロッカーやシューズのレンタル、タオル販売等、**手軽にスポーツに取り組める環境を整備**します。
- ・ スマートフォン等と連動して各種記録管理が可能なランニングマシンや自転車エルゴメーター等をスムーズに使用できるよう、引き続き**フリーWi-Fiを設置**します。
- ・ 機器清掃用タオル・消毒液の常備や更衣室の土足禁止措置等、衛生的で快適な空間を確保します。



レンタル・販売用品一例

2 安全管理体制の充実

スタッフの配置

- ・ トレーニングルームの施設責任者を配置して業務の指導・監督にあたります。
- ・ 管理基準に定められた配置人数から**平日は1名増員、土日祝日の繁忙期には2名増員**で対応し、利用者対応の充実と事故防止に努めます。
- ・ 施設責任者はトレーニング指導者資格の最高レベルである、(公財)日本スポーツ協会公認「**アスレティックトレーナー**」の保有者を配置します。また、健康運動指導士等の公的ライセンスを保有する経験豊富な指導スタッフを配置します。

賠償責任保険への加入

- ・ 「1事故1億円、死亡7000万円、その他治療費全額支給」と同等以上の保険に加入します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(2) 東京オリンピックメモリアルギャラリー運営業務

## 1964東京大会から東京2020大会へとつながるオリンピック・パラリンピックのレガシーを次世代に継承していきます

- 1964 東京大会の会場である駒沢から当時の大会記録と記憶を後世へ伝えます
- 1964 東京大会と東京 2020 大会とを結び付け、両大会のレガシーの価値を共に高め合う展示を通じて、二度開催された東京オリンピックの素晴らしさを広く発信していきます



### 1 1964 東京大会を未来へ継承する取組

#### データベースを活用した資料・記録の適切な整理・管理

- ・ 1964 東京大会を中心とする約 3,600 点の膨大な資料や記録等を適切に管理するため、代表団体Aが令和2年度に**データベースを構築**しました。これにより、各種検索が可能となり、問合せ対応や企画展示の効率が大幅に向上しました。今後も引き続き適切な管理を行います。



データベース活用による収蔵品の管理

#### 効果的な展示と貸出によるオリンピック・パラリンピックへの理解促進

- ・ 年間を通じて見学できる**常設展示**と、期間を定めて公開する**企画展示**の効果的な展開により、後世に大会レガシーを継承し、オリンピック・パラリンピックへの興味関心を喚起します。
- ・ **常設展示**では、1964 東京大会のユニフォームや聖火トーチ・メダル等の資料を展示します。併せて、開・閉会式や全競技のハイライトを上映し、当時の興奮を感じ取れるよう工夫します。
- ・ **企画展示**では年2回、テーマを決めて大規模な展示替えを行い、オリンピックに加え、競技用車いす・義足・ゴールボール用マスク等、**パラリンピックへの理解を促進する展示**も行います。
- ・ また、資料の有効活用として、**1964 東京大会の聖火トーチ、メダル、チケット等の都内の小中学校への貸出し**を東京都と協議のうえ実施します。東京の未来を担う世代に当時の実物を手に取り、身に着けてもらうことにより、オリンピック・パラリンピックを身近に感じる貴重な体験とスポーツへの関心を高める機会を提供します。貸出しに当たっては、東京都生活文化スポーツ局・教育庁等と連携し、物品の安全対策を行います。



1964 東京大会のレガシーの展示

#### 来場者への丁寧な案内・説明対応

- ・ これまでの対応経験を生かし、来場者・小・中学校等の団体見学の質問などに的確に対応します。
- ・ 音声ガイドの導入や多言語化対応などを検討し、ホスピタリティ溢れる丁寧な案内や配慮に努めます。



来場者案内

#### 来場者拡大への取組

- ・ 小・中学校等の団体見学を積極的に受け入れ、オリンピック・パラリンピック、スポーツに対する興味関心の喚起を行います。
- ・ 園内掲示のほか、ホームページやSNS、メディア取材等を通じてギャラリーの魅力を積極的に広報します。
- ・ **スポーツツーリズム**として、旅行会社等を通じた見学ツアーや修学旅行、社会科見学等の誘致に引き続き協力をほか、**とのコラボレーション等**を検討します。

### 2 東京オリンピックメモリアルギャラリーリニューアル

#### 体育館改修後のリニューアルに向けた展開

- ・ 東京都と協議のうえ、令和7年度(予定)の体育館の再開館に合わせ、1964 東京大会と東京 2020 大会をつなげる目的として、東京 2020 大会の競技や選手に関する展示を企画します。
- ・ 体感エリアでは、**VR等を活用**して1964 東京大会と東京 2020 大会の記録の違いを体験できるプログラムの導入やパラリンピックの世界を体感できるコンテンツ等を検討します。
- ・ 東京都と協議のうえ、東京アクアティクスセンターをはじめとする**他の都立スポーツ施設等とも連携**した大会関連アーカイブの展示等を検討していきます。

(1) 受付案内

## 誰もが安心して快適に利用できるインクルーシブな受付・案内サービスを充実します

- スポーツ、公園双方の施設及び事業を熟知したスタッフによる利用者へのスムーズな案内を実施します
- スタッフ一人一人が多様な利用者の視点に立つ「マインド」と「アクション」を学び、こころづかいが伝わるユニバーサルなサービスを提供します



### 1 利用者が快適に施設を利用できる受付システム

#### 公園案内も兼ねた受付窓口設置によるスムーズな利用者対応

- ・陸上競技場サービスセンターを、専用使用希望者の申込受付窓口機能に公園の案内機能を加えた総合窓口として運用し、ワンストップで各種問合せ等に対応します。
- ・屋内球技場には1日当たりの利用団体数が特に多いテニスコート・軟式野球場の受付窓口を設けるほか、各施設に利用案内や用具貸出に対応する受付案内を配置します。
- ・公園内の簡易な施設案内等については、総合窓口手前の警備員室にインフォメーション機能を持たせ、園内マップを活用し速やかに対応します。



総合窓口

### 2 高品質なサービスを提供する受付案内とフォローアップ

#### インクルーシブな施設の提供による多様なニーズへの対応

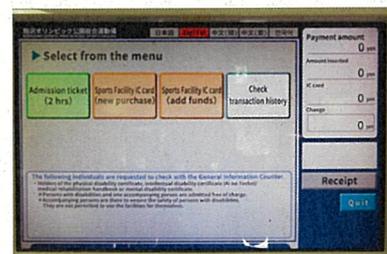
- ・各受付案内には業務経験が豊富なスタッフを配置し、施設や事業の案内だけでなく、利用に関する相談から設営・撤収まで快適・安全に利用するためのフォローアップ体制を構築します。

#### ①障害のある方・高齢者・怪我をされている方等への対応

- ・エレベーターや多機能トイレ等、アクセシビリティ改善に向けたハード面の整備への協力に加え、利用者視点に立った動線の見直しやスムーズな案内を通してソフト面のバリアフリーを進めます。
- ・耳の不自由な方に配慮した筆談器の活用、障害のある方が介助される方と一緒に入室できる更衣場所の提供等、安心して施設を利用できるよう柔軟な対応に努めます。

#### ②外国人等の来館を想定した対応

- ・外国人を含めた誰もが容易に目的地にたどり着けるよう、施設内に日本語以外の言語やピクトグラムを引き続き設置し、直感的でわかりやすいユニバーサルデザイン環境を整備します。
- ・ホームページや券売機の多言語対応や、多言語翻訳アプリケーションソフトウェア等の導入・活用による言語バリアフリーを図ります。



多言語対応の券売機

#### インフォメーション機能の強化による施設情報の提供

- ・デジタルサイネージの整備を進めることにより、大会や施設の情報を発信し、利用の促進を図ります。また、災害や事故発生時に関連情報をタイムリーに利用者へ提供します。
- ・引き続き総合窓口でのWi-Fi提供を行うとともに、本施設の情報を利用者及び観客にリアルタイムで提供できるよう、大規模大会が開催される施設へのWi-Fiの導入について東京都と協議の上、拡大を図ります。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(2) 苦情・要望等に対する対応等

**利用者の声をサービス向上のための貴重な財産として捉え、より良い施設運営に反映します**

- 当グループは利用者の声を貴重な情報として積極的に収集します
- 収集した意見等は分析のうえ、当グループが管理する他施設にも共有し、グループ全体でサービス水準の向上につなげます
- 適切な対応とその公表により、都立スポーツ施設として説明責任を果たし、より良い施設運営を実現します

1 意見・要望への具体的な対応方法

**利用者の意見反映によるサービスレベルの向上**

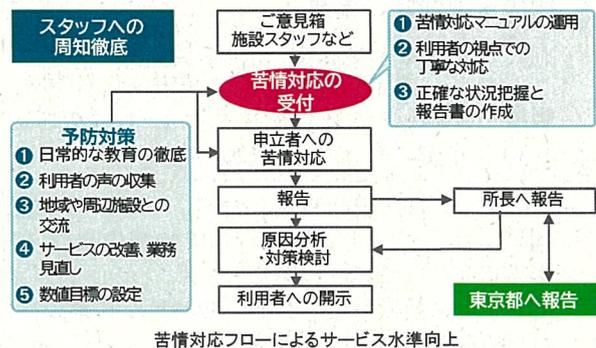
- ・感染症対策など遵守事項が増えるに伴って、様々なご意見をいただく機会が増えています。対応するスタッフの正しい知識とコミュニケーション能力を高めることにより、利用者の声をくみ取り、利用者とともに新しい運営のあり方を築きあげていきます。
- ・複数施設を管理運営していることから、各施設でのトラブルや対応状況を月1回の経営会議等で共有し、同様のトラブルの未然防止を図ります。
- ・職員やスタッフは接遇研修の受講を必須とし、サービスレベルの向上を図ります。

**利用者の声の収集方法**

収集方法		内容
専用使用	利用団体等へのヒアリング	利用団体との打合せの際などに、大会・イベント主催者の視点から見た意見・要望を収集します。
	利用者懇談会の開催	利用団体から直接意見を伺う利用者懇談会を通じて施設運営に取り組みます。
個人使用	スタッフによる声の収集	施設内において、スタッフによる利用者との日常的なコミュニケーションを通じ、利用者の「生の声」を収集します。
	ご意見箱の設置	施設内にご意見箱を設置し、随時利用者からの意見・要望を受け付ける体制を整えます。
事業	事業実施後のアンケート	事業参加者に対してアンケートを実施し、事業内容の改善や新規事業の考案につなげます。
共通	ホームページによる受付	休館日・営業時間外でも意見・要望を受け付けられるよう、ホームページにメールフォームを設置するとともに、同フォームにアクセスできるQRコードを施設に掲示します。
	利用者満足度調査の実施	運営の指標として利用者の満足度を調査するため、施設・設備・運営に関するアンケートを実施します。

**意見等の反映・改善の仕組み**

- ・収集した意見・要望については、PDCAサイクルに沿って個別に対応策を精査・検討するとともに、データベース化して当グループが管理している他施設も含めた改善を図ることで、グループ全体のサービス水準の向上につなげます。例えば、「体調管理チェックシートの記入が大変」というご意見に対し、代表団体Aが管理する全ての施設でWEBへ入力できるシステムを導入しました。
- ・対応策については、東京都及び本施設内各所と情報共有を行うとともに、利用者に対し、意見・要望の内容及び対応策を施設内掲示などで公表することにより、都立スポーツ施設としての説明責任を果たします。
- ・代表団体Aが管理している都立スポーツ施設の代表が集まる経営会議並びに東京都で実施するパートナーシップ会議で事例を共有することで、本施設を含めた18施設全体の対応スキルの水準向上を図ります。



事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(3) 駒沢オリンピック公園との連携協力

**公園管理者との連携協力により、  
公園全体での質の高いサービス提供に取り組めます**

- 公園との一体管理の経験をもとに、スポーツ施設利用・公園利用の両面からサービス向上に取り組めます
- 東京都の重要な防災拠点として、危機管理体制を構築します
- 公園とのコラボレーションにより賑わいとスポーツ公園としての魅力を向上します



**1 公園協会との連携による一体的なサービスの提供**

- ・駒沢オリンピック公園は、都内でも有数のジョギングコースや代表団体Aが管理していた時期に設置した「SS広場」など、スポーツを実践する環境が整っている公園として常に賑わっています。
- ・今後もこうした貴重な環境を有効活用し、公園管理者である公園協会との協力の下、スポーツ施設・公園利用者両方のニーズを捉えたサービス提供を行います。



ランナーが集う園内

**公園協会との協力体制の構築**

- ・都立公園として、公園の利用には屋外広告の制限など様々なルールがあり、また東京都公園管理部署の管理方針を尊重する必要があるため、これらの規則等を理解し**景観や公共性に配慮**したうえで、スポーツ施設の建物管理、サービス提供及び事業実施を進めます。
- ・サービスセンターに「**公園連絡担当職員**」を配置し、日々公園に関わる調整を行うことにより、公園協会との良好な協力関係を構築します。

**公園と一体性のある施設運営の実施**

- ・公園協会と当日の業務予定、事件・事故、遺失物等について、**毎日始業時に情報共有**を行います。重要事項は、その都度管理担当課長や管理職を交え、対策について協議します。
- ・本施設の各部門スタッフ等と公園協会を交えた「**実務担当者会議**」をこれまで同様毎月実施し、業務予定や課題等について情報共有を行います。
- ・公園協会と共同で、公園とスポーツ施設の「**園内マップ**」を作成し、受付窓口等で利用者に配布します。また、園内の案内板も意見交換をして充実させていきます。施設・公園に関する苦情についても随時共有し、必要に応じて協力して対応します。
- ・トレーニングルームの**ランニングステーション機能**をより広く周知し、利用促進を図るとともに、ランナー用ロッカーの整備の検討等、より快適にランニングを楽しむための支援を進めます。



園内マップ

**危機管理体制の構築**

- ・駒沢オリンピック公園は、「防災公園」として「大規模救出救助活動拠点」等の役割を担っていることから、指定管理者相互の災害対応体制を確認し、円滑に意思疎通ができるよう、**合同の防災訓練**を実施し、災害に備える万全の体制を整えます。

**公園とスポーツのコラボレーション**

- ・「スポーツの日記念事業」など、スポーツ施設と中央広場を同時利用したイベントの実施により**地域の賑わいを創出**します。
- ・中央広場で開催される「ラーメンショー」「オクトーバーフェスト」など**大規模なイベントに合わせた事業の共同広報やニュースポーツ体験コーナーの展開**などにより、イベント来場者のスポーツへの関心を喚起します。
- ・公園主催「花と光のムーブメント」事業で**管制塔ライトアップ**や陸上競技場へのプロジェクションマッピングに協力するなど、大規模イベント等の盛り上げや各種普及啓発への貢献を通じて、公園の賑わいを創出し、魅力を発信します。



管制塔のライトアップ

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(1) スポーツ振興事業

**レクリエーションをはじめ多彩な事業を展開し、「スポーツ都市東京」の実現に貢献します**

- レクリエーション団体、スポーツ関係団体等とのネットワークを活用した多様な事業を展開します
- スポーツを「する・みる・支える」の視点を基軸にし、多彩なコンテンツを提供します
- 東京 2020 大会レガシーを生かし、他施設と連携したネットワークで東京都の施策を確実に推進します

**1 事業実施における基本的な考え方**

- ・「スポーツの力で東京の未来を創る」という基本理念のもと、「東京都スポーツ推進総合計画」「TOKYO スポーツレガシービジョン」など東京都の施策を踏まえ、**スポーツ実施率 70%、「スポーツ都市東京」の実現**に向けて事業を展開します。
- ・「する・みる・支える」の視点を踏まえ、誰もが、いつでも、どこでも取り組みやすいレクリエーションを契機としたスポーツの習慣化が図れるよう、本施設を「**都民レクリエーションの拠点**」と位置付け、都民のQOL向上に寄与していきます。
- ・**デジタル媒体を活用した情報発信を充実**させ、都民のスポーツをしたいという気持ちに訴求するとともに、**事業申込・参加手続のDX化**を進めます。

**スポーツ振興事業のポイント**

- 東京都スポーツ推進総合計画に沿った事業展開
- 実施率70%への寄与・対象の明確化
- 施設特性を生かした事業展開
- 公園内運動施設・大規模な施設
- 協力団体とのコラボレーション
- 競技団体・レク団体・大学研究機関
- NPO団体・民間企業、団体等
- 事業評価による継続的な改善
- PDCAサイクルによる見直し

東京都スポーツ施策の効果的な推進

**2 施策に合致した多様な事業を展開**

**スポーツに親しむ多様な機会の提供**

- ・構成団体Cの企画による**レクリエーションを中心とした気軽なスポーツ体験**や、**競技力向上、スポーツを通じた共生社会の実現**など、対象を明確にした多彩なコンテンツを提供します。
- ・事業の参加者アンケートの結果や、講師、関係団体等との意見交換などを踏まえて事業の充実を図ります。
- ・アマチュアスポーツの各団体や指導者との連携を図り、競技レベルに応じた計画的かつ段階的なプログラムを提供します。

**①レクリエーションの普及・振興【する】【支える】**

- ・構成団体Cに加盟するレクリエーション地区団体や種目団体等と連携し、**子供から高齢者の多世代を対象**にした「手軽に続けるスポーツ・レクリエーション事業」等により、スポーツを始めるきっかけづくりを行います。また、「ジュニア指導のための指導者講習会」、「レク指導のための指導者講習会」などを通じて指導者育成を進め、レクリエーションの普及・振興とスポーツ実施率の向上を図ります。



レク指導のための指導者講習会(ユニカール)

**②幼児・子供の発育・競技力向上【する】**

- ・1964 東京大会のレスリング会場であったことを記念した「キッズレスリングデー」や、「ジュニアサッカースクール」、「ジュニアテニスアカデミー」等を競技団体等の協力を得て実施し、**幼児・子供の身体の発達・発育と競技力向上**等を図ります。
- ・親子でサッカーやフットサル等多種目の球技を体験しながら楽しめる「親子で楽しむスポーツカーニバル」を実施し、親子がスポーツを通して生きがいや絆を育むことができる機会とします。



ジュニアサッカースクール

**③働き盛り・子育て世代の日常化【する】**

- ・スポーツ実施率の低い20~30代の働き盛り世代・子育て世代を対象に、著名アスリートによる「アスリートとのスポーツ交流体験」や走ることの基本技術や技能を学べる「ランニングクリニック」を実施し、ライフスタイルに応じてスポーツ参加環境の整備等を図り、**スポーツの日常化のための機会を提供**します。

**④女性スポーツのライフサポート【する】**

- ・女性のスポーツ活動や健康の維持向上を支援するため、東京体育館や東京武道館との連携による「女性バレーボール交流会(9人制)」や、楽しみながら気軽に身体を動かせる「女性のためのレクリエーション体操」を実施し、**女性がスポーツに取り組みやすい環境を創出**します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

⑤高齢者スポーツの振興【する】

- 健康寿命への貢献事業としてシニアから楽しめる「シニアのためのスポーツクリニック」や、運動経験や体力に自信がなくても参加できる「シニアのためのスポーツ体験セミナー」を実施し、健康や体力の維持向上が求められるシニア世代がスポーツを生きがいと思えるライフスタイルをサポートします。

⑥パラスポーツの普及・振興【する】【支える】

- などのパラスポーツの普及・振興に関して経験豊かな団体との連携により、都民やスポーツ指導者等を対象にした「パラスポーツシンポジウム」を開催し、パラスポーツへの理解促進の機会を提供します。
- また、各種スポーツを実践している障害者と健常者が一緒にパラスポーツを楽しむ体験を通じてその魅力を感じてもらう機会として「障害者・高齢者スポーツ講座」や「パラスポーツクリニック」を実施し、共生社会の実現を目指すとともに、**イコールスポーツの普及・振興**に努めます。

⑦スポーツ観戦機会の提供【みる】

- スポーツを見て楽しみたい都民に対しては、スポーツ関係団体と連携し、「トップスポーツ観戦事業(年3大会)」の種目を拡充し、サッカーやレスリング、フェンシング等の全国規模の質の高い大会を観戦できる機会を提供することで、**夢や感動を与えるとともに、スポーツへの関心と実施意欲を向上させるきっかけ**を創出します。



トップスポーツ観戦事業

⑧スポーツ指導者の育成・研修【支える】

- スポーツの指導者や指導者を目指す方を対象に、「高齢者・障害者指導のための指導者講習会」を東京都障害者スポーツ協会と連携して実施し、健康運動指導士等の資格更新のための単位取得の機会を設けることにより、スポーツ界の健全な発展とスポーツ人口の裾野拡大に貢献します。
- 「AED(自動体外式除細動器)普及啓発事業」を最寄りの消防署の協力を得て実施し、スポーツの現場における事故防止・安全確保に必要な知識を身に着ける機会を設定します。

⑨学校運動部活動の支援【支える】

- 中学校や高等学校の運動部活動を支援することを目的に、都や中学校体育連盟、高等学校体育連盟と連携して、アーチェリー、ホッケー、ラクロス等、屋外競技種目に焦点を当てた「屋外スポーツ部活動合同練習会(年2回)」を実施し、**競技力向上と指導者育成**を図ります。

3 効果的な事業としていくための取組

デジタルポイント付与により都民のスポーツ習慣化をサポート

- 代表団体Aは「スポーツ気運継承事業」として、都立18施設を始め、都内や市区町村等で開催されるスポーツイベントに参加した方に**デジタルポイントを付与**し、景品と交換できるスタンプラリーを実施します。
- 年度終わりには、各イベント参加者とも交流が持てるよう「スポーツ交流フェスタ(仮称)」を実施し、ポイント獲得者に景品を贈呈するなど今後のイベントへの参加を促すとともに、都民のスポーツへの興味・関心を高めます。本施設は他の都立スポーツ施設と連携して、こうした都民のスポーツ習慣を根付かせる活動に積極的に取り組みます。

スポーツへの興味・関心を育てる



スタンプラリーのイメージ

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	1 事業当たり		収支計画			
			時期回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費
1	「親子で楽しむスポーツカーニバル」 幼児・小学生と保護者を対象に、様々な種目を体験する機会を提供する。スポーツに触れ、楽しさの体験を通じて、子供と保護者それぞれが、スポーツへの興味・関心を高め、継続的なスポーツ実践のきっかけづくりを図る。	幼児・子供・働き盛り世代	1回	144組 (288)			材料費	その他※
2	「1964東京オリンピック開催記念 キッズレスリングデー」 と連携し、幼児・小学生を対象に、1964年東京オリンピック大会でレスリング会場であった施設における、レスリングの体験を通じて、スポーツに親しみむきっかけづくり及びレスリングの普及・振興に寄与する。	幼児・子供	1回	子供80 親子20		講師費用	材料費	その他※
3	「ジュニアサッカースクール」 と連携し、幼児・小学生を対象に、サッカーを通して基本技術の習得やルールの遵守によるフェアプレー精神を培う場を提供する。参加者同士の交流を促し、スポーツの楽しさを学び、子供達の健全な発達・成長に寄与する。	幼児・子供	38日 1回	420		参加料	協賛金	その他※
4	「ジュニアテニスアカデミー」 幼児・小学生を対象に、テニスを通して基本技術の習得やルールの遵守によるフェアプレー精神を培う場を提供する。参加者同士の交流を促し、スポーツの楽しさを学び、子供達の健全な発達・成長に寄与する。	幼児・子供	10日 3回	140		講師費用	材料費	その他※
5	「屋外スポーツ部活動合同練習会」 ラクロス・アーチェリー等の部活動のリーダーを対象に、合同練習会を実施する。技術の向上、他校生徒との交流する機会を提供し、運動部活動の活性化、ジュニア世代の競技力向上を図る。	子供	1日 2回	200		講師費用	材料費	その他※
			実施回数	参加人数	支出合計①			
			-	-	収入合計②			

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。



提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	1事業当たり		収支計画				
			時期回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
11	<p>「女性のためのレクリエーション体操」</p> <p>女性を対象に、気軽にできるレクリエーション体操やニュースポーツを体験する機会を提供。スポーツ・レクリエーションの楽しさを体得するとともに日常生活のストレスを軽減し日々の生活に張り合いをもってもらおう、きっかけづくりを図る。</p>	女性	1回	40					
12	<p>「シニアのためのスポーツクリニック」</p> <p>高齢者を対象に、スポーツ技能の向上を図るためのクリニックを実施する。競技志向の方などに、一層のスポーツの実践意欲を促すとともに、健康・体力の維持増進を図る。</p>	高齢者	1回	40					
13	<p>「シニアのためのスポーツ体験セミナー」</p> <p>高齢者を対象に、スポーツを体験する機会を提供する。無理なく気軽にスポーツに触れ、体を動かす楽しさを知り、健康・体力の維持増進、スポーツの習慣化や仲間づくりに寄与する。</p>	高齢者	1回	40					
14	<p>「障害者・高齢者スポーツ講座」</p> <p>障害者と高齢者を対象に、スポーツに親しむ場を提供する。スポーツを通じて交流を図り、スポーツの素晴らしさを知ること、スポーツへの関心を高め、障害者、高齢者のスポーツ活動意欲を促進する。</p>	障害者 高齢者	1回	50					
15	<p>「パラスポーツクリニック」</p> <p>障害者を対象に、身体能力に応じた技術を得る機会を提供し、スポーツの楽しさを知り、継続的なスポーツ実践のきっかけづくり、障害者スポーツの振興を図る。</p>	障害者	1回	50					
			実施回数	参加人数	支出合計①				
			-	-	収入合計②				

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期回数	1事業当たり		収支計画			
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※
16	「トップスポーツ観戦事業」 一般市民を対象に、競技団体の協力を得て、駒沢で開催される大規模大会を観戦する場を提供する。観戦を通じてスポーツへの理解と関心を高め、スポーツ実践のきっかけづくりに寄与する。	誰でも	3回	150		支出合計		材料費	その他※
						収入合計		協賛金	その他※
17	「障害者・高齢者指導のための指導者講習会」 障害者・高齢者指導を行う指導者を対象に、障害者・高齢者の運動指導に必要な体力づくりやスポーツ活動の知識と指導技術を学ぶ機会を提供し、障害者・高齢者の活動を支える指導者の育成に寄与する。	指導者	2回	100		支出合計		講師費用	その他※
						収入合計		参加料	その他※
18	「スポーツ指導のためのジュニア指導者講習会」 幼児・子供の指導を行う指導者を対象に、スポーツ指導の知識や指導技術を学ぶ機会を提供。幼児・児童の心身の成長にプラスとなるような指導法の機会を提供し、ジュニアの活動を支える指導者の育成に寄与する。	指導者	1回	30		支出合計		講師費用	その他※
						収入合計		参加料	その他※
19	「レク指導のための指導者講習会」 レクリエーション指導者を対象に、指導に必要な知識と指導技術を学ぶ講習の機会を提供し、地域におけるレクリエーション活動を支える指導者の育成に寄与する。	指導者	1回	40		支出合計		講師費用	その他※
						収入合計		参加料	その他※
20	「AED(自動体外式除細動器)普及啓発講習」 スポーツ指導者等を対象に、救急の際に必要な知識と技能を学ぶ機会を提供し、スポーツの現場で効果的な救急活動を行える指導者の育成に寄与する。	指導者	1回	40		支出合計		講師費用	その他※
						収入合計		参加料	その他※
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。						支出合計①			
						収入合計②			
<b>総合計</b>						実施回数	参加人数		
						-	-		

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	1事業当たり		収支計画					
			時期回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	
21	「パラスポーツシンポジウム」 一般都民を対象に、パラスポーツの歴史や概略及び現状等を学識経験者やパラアスリートに、シンポジウム形式にて披露してもらうとともに、パラスポーツの競技用品(車椅子や義足等)の展示や体験により、パラスポーツの理解促進を図る。	誰でも	2回	100						
22	「地域で育むスポーツ・レクリエーション事業」 一般都民を対象に、スポーツ・レクリエーションを体験する機会を提供する。施設近隣の構成団体C加盟団体に運営を依頼し、地域連携を図りながら、事業を通じて参加者の交流、レクリエーションの普及啓発、レクリエーション団体の活動活性化を促す。	誰でも	6回	240						
23										
24										
25										
<b>総合計</b>			実施回数	参加人数	支出合計①					
			41	3,748	収入合計②					

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。

(2) スポーツの日記念事業

**駒沢公園全体をスポーツフィールドとして、施設全体で多様なプログラムを実施し、スポーツの力と魅力を実感できる場として提供します**

- スポーツ・レクリエーション体験を通じたスポーツの魅力を発信します
- 東京 2020 大会のレガシーを継承するための多種多様なプログラムを実施します
- グループ4施設の横ぐし連携企画を実施し、「スポーツ気運継承事業」を盛り上げます



**1 スポーツの日記念事業の実施方針**

- ・スポーツになじみのない方でも気軽に参加でき、**スポーツの新しい発見、動機づけ**となる多種多様なプログラムを駒沢の施設全体で一斉に実施します。
- ・親子、家族、夫婦等世代や年代を問わず、1日フルタイムでスポーツを楽しみ、身体を動かす爽快感や連帯感等を体感することで、**スポーツの日常化**につなげます。
- ・公園やスポーツ関係団体、地区商店街、大学等と連携して、駒沢公園全体がスポーツで賑わいのある空間として、地域の活性化につなげます。

**2 具体的なプログラム展開**

**来場者の誰もが楽しめる多彩なプログラム**

- ・東京 2020 大会のオリンピック・パラリンピック競技種目をトップアスリートと一緒に体験できるコーナーでは、**オリパラ競技の魅力と感動を共に享受できるようにします。**
- ・構成団体Cの加盟団体による運営と指導の下、アウトドアスポーツを含めた多種目のレクリエーション体験が出来るエリアを設け、普段スポーツに馴染みのない方も気軽に身体を動かす機会を提供するとともに、**レクリエーションの魅力**を発信します。
- ・公園の中央広場の特設ステージでは、オリンピックやパラリンピアンをはじめとするトップアスリート等によるステージプログラムを実施する他、一緒にスポーツを体験することで**スポーツに対する意欲や意識向上**を図ります。また、近隣大学のステージ出演の機会を設け、地域の賑わいを創出します。
- ・小学生を対象に、ラグビーやサッカー等の様々な種目のスポーツクリニックを実施し、**ジュニア世代の競技力向上**に貢献します。
- ・総合スポーツ施設としての特性を生かし、親子を対象にしたオリンピック記念塔での空中散歩や各施設のバックヤード見学ができる「駒沢親子体験ツアー」の実施を検討します。
- ・通常有料となっているトレーニングルームや弓道場等の個人利用施設を無料で開放します。
- ・ボランティアブースを設置し、ボランティアの活躍の場を提供します。



中央広場(管制塔より)

**3 グループが一丸となり、「スポーツ気運継承事業」の基幹事業として盛り上げます**

**「スポーツ気運継承事業」の基幹事業としてグループ4施設を“つなぐ”**

- ・令和4年度のスポーツの日には、代表団体Aが管理運営に携わる4施設で開催する「スポーツの日記念イベント」において、著名人が各施設に移動して行うミニトークショーをYouTubeで同時中継するなど**“4施設を横ぐし”**でつなぎます。配信した動画はアーカイブ化し、YouTubeで視聴できるようにするなど、都内スポーツ施設のあらゆる場所でのスポーツ体験を参加者や視聴者に実感していただきます。
- ・また、スポーツイベント等の参加者に**デジタルポイント**を付与し、ウオークイベント等の他事業とも連携しながら、年度末に実施する「スポーツ交流フェスタ(仮称)」へと“つなぐ”ことで、前述のスポーツ振興事業で記載した「スポーツ気運継承事業」の基幹事業としていきます。



4館、都民、スポーツをつなぐイメージ図

- ・将来的には、**18施設共通のコンセプト**により開催するイベントについても、**東京都を代表する総合スポーツ施設として積極的に取り組む**ことで、一体的取組によるスポーツ振興に寄与します。

事業者・団体名	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ
---------	------------------------

提案課題3-1(2)別表 スポーツの日記念事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

No	事業名及び内容	対象層	1事業当たり		収支計画							
			時期回数	定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※	収入合計	参加料	協賛金
1	「スポーツの日記念事業」 一般市民を対象に、気軽に参加でき、スポーツの新しい発見、動機づけとなる多種多様なプログラムを駒沢の施設全体で一斉に実施する。公園をはじめとする周辺地域と連携することで、駒沢公園全体がスポーツで賑わいのある空間として、地域の活性化を図る。	誰でも	1回	40,000								
2	「大規模イベントにおける近隣大学・地元商店街等の協力」 「スポーツの日記念事業」等の大規模イベントに、近隣大学のサークルのステージ出演やボランティア参加、地元商店街出店等の機会を設定、地域の賑わいを創出する。(周辺連携事業再掲)											
3	「4施設横ぐし連携」 「4施設横ぐし連携」企画として、各会場で実施するミニトークショー等をYouTubeで同時配信し、来場できない都民にも「スポーツの日」を楽しむ機会を提供する。											
4												
5												
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。					実施回数	参加人数	支出合計①					
					1	40,000	収入合計②					
<b>総合計</b>												

(3) 自主事業

多種多様なプログラムを展開し、都民に新たなスポーツ体験を提供します

- 施設の有効活用を図り、新たな競技など多様なスポーツニーズに対応した事業を実施します
- VRの活用や公園とのタイアップ等、様々な手法でスポーツ体験を提供します
- 身近なスポーツの場として、継続的なプログラムを展開します



1 事業実施における基本的な考え方

- ・本施設の設置目的や立地を踏まえ、各施設の有効活用を図るとともに、**DX活用や異分野とのコラボレーション**など、都民に新たなスポーツ体験の機会を提供します。
- ・実施に当たっては、適切な参加料を設定し、公共性を担保するとともに、様々な世代が参加できる事業を展開します。
- ・これまで培ってきた競技団体やNPO法人、企業等のネットワークとスポーツ事業の企画・運営ノウハウを生かし、高品質なプログラムを提供します。
- ・参加者実績やアンケート結果、講師や関係団体等との意見交換などを踏まえ、事業の充実を図ります。

自主事業のポイント

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>公共性の確保</b></li> <li>・多様な年代</li> <li>・適切な参加料</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>身近なスポーツの場の提供</b></li> <li>・継続的に参加可能なプログラム</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>多様なプログラム</b></li> <li>・利用者ニーズ</li> <li>・魅力的な内容</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>事業評価による継続的な改善</b></li> <li>・PDCAサイクルによる見直し</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>高品質な事業</b></li> <li>・優れた指導者</li> <li>・専門性の高い団体</li> </ul> |   |

スポーツに親しむ都民の増加

2 具体的な事業展開

多種多様なプログラムを展開

①アーバンスポーツを通じた地域活性化

- ・近年、アーバンスポーツ(都市型スポーツ)の一つとして特に注目を浴びている「3人制バスケ 3x3」の大会を、及びNPO法人と共同し開催します。日頃からストリートバスケットボールができる公園として人気の駒沢を「**3x3の聖地**」として定着させ、3x3の普及・発展と地域の活性化につなげます。

②異分野のイベントをきっかけとしたレクリエーション体験

- ・駒沢公園内では、中央広場で「ラーメンショー」等の**大規模フードイベントや文化イベント**が開催され、参加者等が大勢集まる機会が数多くあります。そのような機会に、構成団体Cの企画の下、近隣のレクリエーション団体と連携して「チャレンジ・ザ・ニュースポーツフェスタ」を開催します。イベント参加者の本来の目的に**レクリエーションという+αの体験**を加えることで、身体を動かすことの楽しさを知ってもらい、スポーツ・レクリエーションに触れられる空間を創出します。

③継続的なスポーツ実施に向けたプログラム

- ・働き盛り世代、女性、シニア向けプログラムとして、特に愛好者や競技者人口が多く、コミュニティスポーツとしても人気のある「バレーボール」、「バドミントン」、「卓球」の各講習会を競技団体やNPO法人等の指導により実施し、日常的かつ継続的にスポーツを実践できる機会の提供とQOL向上にも寄与します。
- ・「バドミントン」と「卓球」は、一流選手のサーブやレシーブ、ラリー等を**VR映像により疑似体験できる内容を取り入れ**、基礎練習やイメージトレーニング等に活用します。



バレーボールコミュニティ

④地域の子供たちを対象としたスポーツ交流イベントを開催

- ・世田谷区を中心として都内の幼児・小学生を対象に、「ジュニアフットボールパーク」を開催し、サッカーやフットサル等の講習会や交流試合等を通じた参加者間の交流を図ります。
- ・これまでの「インターナショナルミニサッカー」事業で実績のある団体と連携することで、長年培ったノウハウを生かし安定した運営を行います。さらにインターナショナルスクールに通う小学生にも参加を促し、参加者の交流の幅を拡大します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題3〔スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務〕1事業の提供

⑤小中学生のスポーツの継続実施機会を提供

- ・小・中学生の軟式野球東京 NO.1 を決定する「ジュニアベースボール大会」の会場として、駒沢は小・中学生選手の憧れの地となっています。今後も東京都軟式野球連盟と連携して開催し、青少年の軟式野球の**競技力向上と普及・振興**に貢献します。
- ・8人制サッカーの「ソサイチリーグ」をNPO法人と連携して実施し、少人数で気軽にかつ継続的に、サッカーを競技として楽しめる機会を提供します。
- ・少年野球の普及・振興を図るため、構成団体Bが企画主体となり、  
の指導者による、「ジュニアベースボールアカデミー」をさらに拡充して実施します。元プロ野球選手の指導により、バッティングや守備などの基本技術・技能等の向上は勿論、チームプレイによる人間的な成長にもつなげます。



ジュニアベースボール大会

⑥ダンススポーツを楽しむ機会の提供

- ・ダンスが中学校の必修科目となり、ブレイキン（ブレイクダンス）が2024年パリオリンピックの正式種目に採用されるなど、未就学児・小・中学生世代でのダンスプログラムへの関心・ニーズが高まっています。
- ・未就学児・小・中学生等に向け「ヒップホップダンスアカデミー」をトレーニングルームのスタッフの指導の下実施し、スポーツを楽しむ機会を提供します。さらに、本アカデミー卒業生をトレーニングルームの利用につなげ、将来的な新規利用者の獲得を図ります。

⑦身近なスポーツプログラムを実施

- ・トレーニングルーム内のスタジオで、各種スポーツを体験できる「**スタジオプログラム**」を実施します。日常的にスポーツを実践できる機会と場所を提供することで、都民のスポーツ実施率の向上に寄与します。
- ・健康や体力の維持・増進、筋力増強、ダイエット、身体のコンディショニング、ストレス発散などを目的に、初心者から上級者、働き盛り世代、女性、高齢者など幅広い層を対象にした利用者のニーズに即した豊富なメニューを準備します。



スタジオプログラム(ヨガ)

テーマ	プログラム内容例(一部抜粋)	
健康増進	健康体操	健康増進、障害の予防・改善を目的とし、楽しいエクササイズを紹介します。特に中高年の方にお薦めです。
	熟年者体操	高齢者の方々を対象に、楽しく元気に体を動かす体操のクラスです。どなたでも受講できます。
筋力増強	トータルボディコンディショニング	有酸素系筋肉トレーニングクラスです。全身の筋肉を効果的に鍛え、筋力・持久力向上を目指します。自分のペースで行うので初めての方でも大丈夫です。
	ステップアップレジスタンス	筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせせたクラスです。
ダイエット	ファットバーナー	エアロビクス動作の中でも特に筋肉に意識を集中し、体の中から脂肪燃焼を促進することを目的としたクラスです。
	K-POP	ダイエットエクササイズとK-POPカバーダンスの両方を行います。有酸素で燃やしたい方、初心者の方も参加できる内容です。
コンディショニング	ピラティス	インナーマッスルを使ったストレッチを基本とし、呼吸法によって身体をリフレッシュさせる効果のある、関節や腰に無理のない運動です。
	ヨガ	ヨガ特有のポーズ・瞑想・呼吸法で精神のリラクゼーションを養うクラスです。
ストレス発散	コア・ボクシング	本格的なボクシングで楽しく汗を流すクラス。同時に体幹部分(コア)を鍛え、全身のバランス調整も行います。
	Zumba	ラテン系の音楽とダンスを融合させて創作されたダンスフィットネスで、特徴は早いリズムと遅いリズムの曲が組み合わせられた、ダイナミックでエキサイティングなインターバルトレーニングクラスです。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ





提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画										
			定員観客数	参加料/入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※						
11	「陸上記録会」 マラソン愛好者を対象に、陸上競技長距離の記録を計り、練習の成果の確認、継続的なスポーツの実施を促進する。	2回	80												
12	「ジュニアフットボールパーク」 幼児・小学生を対象に、サッカーやフットサルの交流試合を実施する。試合を通じて、スポーツの楽しさに触れることで、スポーツ実践の積極的な意欲の高揚に寄与する。	2回	幼児32チーム (256) 小学生64チーム (512)												
13	「3x3(バスケットボール)カップ」 バスケットボールや3x3の競技者並びに愛好者を対象に、3x3の大会に参加する機会と場所を提供し、大会参加による他チームとの交流と3x3の普及・振興に資する。	1回	48チーム (192)												
14	「エアロビクス ビギナー」(60分) エアロビクスが初めてという方、まだ基本をしっかりと行いたい方におすすめのクラスです。＜初心者対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000												
15	「エアロビクス ローインパクト」(60分) 走らないエアロビクスで、膝や腰への負担が少なく、ステップを中心にリズムミカルに全身運動を行います。＜初・中級者対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000												
		実施回数	参加人数		繰入額①					収入総合計③					
		総合計			支出総合計②(①を含む。)					差引④(③-②)					

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1 事業当たり		収支計画								
			観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
16	「エアロピクス ベーシック」(60分) エアロピクスの基本動作を中心に行います。心地よい汗を流すのにおすすです。＜初・中級者対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
17	「エアロピクス レギュラー」(60分) ベーシックとハイインパクトの中間に位置する中級者向けのレッスンです。基本動作から徐々に多彩なコンビネーションを行います。＜中級者対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
18	「熟年者体操(健美操)」(60分) 高齢者の方々に、呼吸、精神、身体の3つの調和で身体のバランスを整える体操です。＜中高年齢者対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
19	「ピラティス」(60分) インナーマッスルを使ったストレッチを基本とし、呼吸法によって身体をリフレッシュさせる効果のある、関節や腰に無理のない運動です。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	4,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
20	「ボディコンディショニング エアロ」(60分) 楽しくエアロピクスを行うための基礎筋力向上を図るクラスです。エアロピクスの動きの中で、筋力バランスを整えていきます。＜初心者対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	4,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	その他※
			参加人数		繰入額①			収入総合計③					
<b>総合計</b>					支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)					

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 (参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画									
			観客数	定員 参加料/入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
21	「ボディコンディショニング ファットバーナー」(60分) エアロビクス動作の中でも特に筋肉に意識を集中し、体の中から脂肪燃焼を促進することを目的としたクラスです。 ＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
22	「ボディコンディショニング サーキット」(60分) 筋力トレーニングと有酸素運動を組み合わせたクラスです。音楽によってトレーニングを行います。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	2,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
23	「太極拳」(60分) ゆっくりした動作を深呼吸に合わせて行い、気の通路の循環を良くし、骨格・筋肉・関節を鍛えて、バランス感覚を養います。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	2,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
24	「Zumba」(60分) ラテン系の音楽とダンスを融合させて創作されたダンスフィットネスで、ダイナミックでエキサイティングなプログラムです。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	3,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
25	「ヒップホップ」(60分) HIPHOPやR&Bなどの音楽に合わせてステップを踏み、ダンスを楽しむクラスです。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
			参加人数		繰入額①						収入総合計③			
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。 ● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。 ● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。 ● 繰入額①は、委託料算出の際に繰り入れられる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。					支出総合計②(①を含む。)						差引④(③-②)			
<b>総合計</b>														

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画							
			観客数	参加料/人	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	支出合計	収入合計	支出合計	収入合計
26	「トータルボディコンディショニング」(60分) 有酸素的筋肉トレーニングクラス。全身の筋肉を効果的に鍛え、筋力・持久力向上を目指します。自分のペースで行うので初めての方でも大丈夫です。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000		講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	支出合計	収入合計	支出合計	収入合計
						参加料		その他※				
27	「コア・ボクシング」(60分) 本格的なボクシングで楽しく汗を流すクラス。同時に体幹部分(コア)を鍛え、全身のバランス調整も行います。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000		講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	支出合計	収入合計	支出合計	収入合計
						参加料		その他※				
28	「トータルカーディオダンス」(60分) ダンスムーブメントをメインとしたエアロビクスダンスクラス。馴染みのあるシンブルなエアロビクス動作からダンス動作につなぎ、様々なダンスパフォーマンスを踊ります。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000		講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	支出合計	収入合計	支出合計	収入合計
						参加料		その他※				
29	「らくらくヨガ」(60分) ヨガの呼吸法をたっぷり取り入れ、心身の調和を図ります。どんなにも気軽に参加いただけただけのクラスです。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000		講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	支出合計	収入合計	支出合計	収入合計
						参加料		その他※				
30	「ヨガ」(60分) ヨガ特有のポーズ・瞑想・呼吸法で精神のリラクゼーションを養うクラスです。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週3回 計150回	6,000		講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	支出合計	収入合計	支出合計	収入合計
						参加料		その他※				
			参加人数		繰入額①						収入総合計③	
					支出総合計②(①を含む。)						差引④(③-②)	
					繰入額①						収入総合計③	
					支出総合計②(①を含む。)						差引④(③-②)	

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画					
			定員観客数	参加料/人 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
31	「パワーヨガ」(60分) 呼吸に合わせて、様々なポーズを流れるように連続して行います。運動量が多いエクササイズの為「身体強化」と「集中力」を高めます。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	4,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
32	「熟年者体操」(60分) 高齢者の方々を対象に、楽しく元気に体を動かす体操のクラスです。(高齢者を対象していますが、どなたでも受講出来ます)＜中高年齢者対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週2回 計100回	4,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
33	「健康体操」(60分) 健康増進、障害の予防・改善を目的とし、楽しいエクササイズをご紹介します。特に中高年の方におすすです。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週3回 計150回	6,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
34	「ストレッチ&ウォーキング」(60分) 前半はストレッチを中心に行い、ウォーキング等に必要なた体幹を意識して行うクラスです。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
35	「パラエティエクササイズ」(30分) 腰痛・肩こり・膝の痛みなどといった、障害別のエクササイズから気軽にできるトレーニングなど、毎月テーマ別に様々なエクササイズをご紹介します。＜全般対象＞ ※トレーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	1,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
					収入合計	参加料	入場料	その他※		
					繰入額①					収入総合計③
					参加人数					
					支出総合計②(①を含む。)					差引④(③-②)
					繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。					

総合計

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。



提案課題3-1(3)別表 自主事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画									
			定員 観客数	参加料/ 入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	収入合計	参加料	入場料	施設利用料金	その他※
41	「エアロピクス K-POP」(60分) 全身の筋力トレーニングを中心に、筋力・持久力の向上を目指します。 ＜全般対象＞ ※トレネーニングルーム利用者に対して実施	週1回 計50回	2,000											
42	「ヒップホップダンスアカデミー」(60分) 未就学児・小・中学生等を対象に、健康や体力づくりとヒップホップダンス自体を楽しむこととし、健康体力づくりとスポーツの日常化に寄与する。	10日 2回	800											
43	「パーソナルトレーナー」(60分) トレネーニング初心者から上級者までニーズに合わせたトレネーニングを紹介し、サポートします。 ＜全般対象＞ ※トレネーニングルーム利用者に対して実施	250日 1回	500											
44	「チャレンジ・ザ・ニュースポーツフェスタ」 一般都民を対象に、構成団体Cの加盟団体をはじめ、他団体とも連携を図り、ユニークなスポーツ、誰でもできるニュースポーツ等の体験イベントを行う。公園内で集客が見込まれるフードフェスタ等の開催日に実施し、来場者に対してレクリエーションスポーツへの興味関心を高める。	2回	1,000											
45														
			参加人数		繰入額①						収入総合計③			
● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。														
● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。														
● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。											支出総合計②(①を含む。)			
● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。			75,340								差引④(③-②)			
<b>総合計</b>			1,946											

(4) 周辺連携事業

**公園や地域団体等との連携によりスポーツを通じた地域の活性化を進めます**

- 公園内に位置するスポーツ施設として、公園施設や公園利用者を巻き込んだスポーツ振興を図ります
- 地元自治体・商店街等、周辺の地域団体等と当グループのコラボレーションにより魅力ある事業を展開します
- 都立施設として地域の官公署等とも連携し、地域の防災力の向上等に貢献します



1 公園との連携

「ランニングの聖地」駒沢の確立

- ・ 駒沢公園内のジョギングコースは都内有数のランスポットで、週末には多くの都民で賑わいます。当グループでは、週末のトレーニングルームの営業開始時間を繰り上げる等により**ランニングステーションとして利用**できるよう提供しています。引き続き公園協会と連携し、より効果的な広報活動を行うことで、ランスポットとしての魅力を高めるとともに、「**ランニングの聖地**」としての地位を確立して地域の活性化につなげます。
- ・ 中央広場と各スポーツ施設で多くのコンテンツを提供するスポーツの日記念事業や、ジョギングコースと陸上競技場を活用した「**ハーフマラソン**」など、公園施設とスポーツ施設を一体的に活用したスポーツイベントにより、**公園利用者を巻き込んで駒沢地域**を盛り上げます。



ハーフマラソン

アーバンスポーツの普及・振興

- ・ 東京 2020 大会での活躍も記憶に新しいスケートボードや、2024年パリオリンピックの正式種目への採用が決定したブレイキン(ブレイクダンス)など、近年アーバンスポーツに対する注目が集まっています。そこで公園との連携により、公園が管理するSS(ストリートスポーツ)広場においてスケートボード、BMX、インラインスケート等の「**アーバンスポーツ初心者講習会**」を実施し、マナー啓発を行いながら、**アーバンスポーツの健全な普及・振興**を図ります。

公園イベントとのタイアップによる裾野拡大

- ・ 公園の中央広場で開催される「ラーメンショー」「餃子フェス」といったフードイベントなど、**スポーツ以外の分野のイベントの参加者・観客等が大勢集まる機会**に「**チャレンジ・ザ・ニュースポーツフェスタ**」を開催し、レクリエーション・スポーツの楽しさを知ってもらう機会を提供します。

2 地域団体のノウハウ・ポテンシャルに着目した周辺連携

官公署等と連携した地域の安全安心と防災力の向上

- ・ 地元の警察・消防・自衛隊・公園協会との連携による「**防災フェスタ**」の開催や、警察・消防の訓練場所としての新専用駐車場の提供などを通じて地域の安全安心、防災力向上に貢献します。
- ・ 世田谷区をはじめ地域の行政機関等で定期的に開催する**玉川地域官公署等連絡協議会**において、情報交換等を行い、各種事業等の広報に協力いただくとともに、地域広報の一翼を担います。



防災フェスタ

近隣大学・地元商店街等の協力による地域の賑わい創出

- ・ 「スポーツの日記念事業」等の大規模イベントにおいて、**等近隣大学のサークルのステージ出演やボランティア参加の機会**を設け、連携して地域の賑わいを創出します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題3-1(4)別表 周辺連携事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画				
			観客数	参加料/入場料	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
1	「アーバンスポーツ初心者講習会」 小・中学生を対象に、アーバンスポーツ(スケートボード・BMX・インラインスケート等)の初心者講習を実施し、マナー啓発とアーバンスポーツの健全な普及・振興を図る。	2回	60		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
2	「ハーフマラソン」 公園とスポーツ施設を一体利用したランニングイベントを実施し、日頃のランニングの成果を確認するとともにスポーツに親しむ機会を提供する。	1回	300		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
3	「防災フェスタ」 公園、地元消防・警察等と連携し、防災公園にある体育施設として、近隣住民等を対象に、防災・減災に役立つイベントを実施し、防災意識の向上を図る。	1回	3,000		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
4	「チャレンジ・ザ・ニュースポーツフェスタ」 一般市民を対象に、構成団体Cの加盟団体をはじめ、他団体とも連携を図り、ユニークなスポーツ、誰でもできるニュースポーツ等の体験イベントを行う。公園内で集客が見込まれるフードフェスタ等の開催日に実施し、来場者に対してレクリエーションスポーツへの興味関心を高める。(自主事業再掲)				支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
5	「ランニングステーション」 ランナーやサイクリストなどの公園利用者向けのランニングステーションとして、トレーニングルームのシャワーや更衣室を提供する。(「トレーニングルーム運営業務」再掲)				支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※
					収入合計	参加料	入場料	その他※	
					繰入額①				
実施回数					参加人数				
-					-				
<b>総計</b>					収入総合計③				
					支出総合計②(①を含む。)				
					差引④(③-②)				

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。



(5) 利用者に対するサービス提供事業

**利用者ニーズを的確に捉え、快適な施設利用につながるサービスを提供します**

- 手軽かつ気軽にスポーツを行うための環境を整備し、利用拡大を図ります
- スポーツを「する」人や「みる」人に快適な環境を提供し、「支える」側の主催者の要望にも柔軟に応えます
- ロケ地提供や施設周辺スペースの活用により、スポーツ利用以外にも楽しめる場と機会を創出します

**1 手軽さ・気軽さを重視したサービス提供**

**スポーツを「始める・続ける」ためのサポートと利用拡大への取組**

**①個人用ロッカー等の設置（トレーニングルーム）**

- ・個人用レンタルシューズロッカーを設置し、仕事や学校帰りに手軽に利用できる環境を整えます。
- ・ランナーやサイクリストなどの公園利用者がランニングステーションとしてトレーニングルームのシャワーや更衣室を利用できるよう整備し、更にトレーニングルームに入場せずに荷物のみを預けられるロッカーの設置を検討する等により、公園全体が地域スポーツの拠点として定着することを目指します。



手ぶらで通える環境整備

**②スポーツ用具の貸出し・販売等**

- ・トレーニングルーム利用者に対して、低価格のシューズレンタルやタオル等販売のサービスを提供し、思い立った時にいつでも**手軽かつ気軽にスポーツを楽しめる環境**を作ります。
- ・テニスボールやアリーナ用ラインテープなど、施設の利用に当たってニーズが高い用品類を窓口で販売するなど、より快適な施設利用につながるサービスを提供します。



スポーツ用具の販売

**③Wi-Fi 環境の提供**

- ・サービスセンターやトレーニングルームにWi-Fiを設置し、トレーニング管理などがスムーズに行える環境を提供します。

**2 快適にスポーツを楽しむための環境整備と柔軟な施設提供**

**スポーツを「する」「みる」「支える」すべての人へのニーズに対応**

**①自動販売機の設置（各施設共通）**

- ・スポーツを快適に楽しむことができるように自動販売機を各所に設置します。様々な利用者のニーズに応えるため飲料の他、アイスクリームやスナックなどの自動販売機を設置します。
- ・トレーニングルームでは、利用者から要望が多いサプリメントを販売し、今後プロテインサーバーの設置も検討します。
- ・「防災公園」の中にある施設として**災害対応自動販売機**の導入や、キャッシュレス決済対応型の自動販売機の設置等、多様なニーズに対応していきます。
- ・**障害者団体等による自動販売機の運営**について、各法律の規定に基づき引き続き積極的に導入します。



災害対応自動販売機を設置

**②カフェテリアスペースの提供**

- ・体育館のカフェテリアスペースは、一般の来園者向けに自動販売機を設置し、飲食可能な憩いの場として提供します。大会等開催時には、会議室等の諸室や物販・飲食サービスの場として主催者による専用利用を可能とするとともに、東京オリンピックメモリアルギャラリーの企画展示としても活用する等、**多目的に対応できる施設提供**を行います。



カフェテリアを活用した物販スペース

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

### 3 ユニークベニューとして地域全体の賑わいを創出

#### 撮影協力やスペース提供を通じて地域全体を活性化

- ①写真・動画撮影等への協力を通じた魅力発信
  - ・雑誌やポスター、TV・映画・YouTubeなどのロケ地として積極的に提供し、広報に活用することで、本施設の**総合スポーツ施設としてのブランド力**を高めます。そこから、本施設に留まらず、駒沢地区全体のブランディングにつなげ、地域の活性化を図ります。
- ②イベントスペース・諸室等の提供
  - ・公園や施設全体を使用した大規模イベントや**駒沢地区全体の賑わい**に供する催し物に際し、控室や物販スペースとして施設の一部や空きスペースを提供します。
- ③キッチンカーの設置
  - ・陸上競技場プロムナードなど、**施設周辺の空きスペースにキッチンカーを設置**し、飲食可能なスペースとして開放を検討します。公園利用者や来園者とスポーツ施設をつなぎ、地域を活性化するとともにスポーツをより身近に感じられる場を提供します。

### 4 ニーズに応えた柔軟な運営

#### 利用者のニーズや大規模大会運営等に柔軟に対応

- ①施設利用を促進するための駐車場運営
  - ・利便性向上を図り、施設の利用を促進するため、駐車場の運営を行います。
  - ・支払い方法については現金のほか、クレジットカード、交通系ICカード、QRコード等の**キャッシュレス決済**に幅広く対応します。
- ・大規模大会等における搬入出や来賓・関係者の入退場等のために駐車場の一部を確保し、主催者に提供することにより、施設利用の目的・用途に沿ったフレキシブルな対応を行い、円滑な大会運営をサポートします。
- ・「障害者用スペース」は、大会開催の有無に関わらず、対象者が駐車可能となるよう、**ユニバーサル対応を考慮した適切な運営**を行います。
- ・ZEV（ゼロエミッション・ビークル）の普及に向けた充電設備の設置等、「ゼロエミッション都庁行動計画」の目標達成に向けた東京都の取組に協力します。
- ②利用団体用倉庫の貸出し
  - ・大きな荷物の運搬が必要な大会主催者等に対し、大会に使用する用具等を預かるための倉庫を貸出し、施設利用の促進につなげるとともに、利用者のニーズを的確に捉えます。
- ③複写サービスの提供
  - ・コピー機の貸出を行い、大会運営をサポートします。

提案課題3-1(5)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
1	「個人用ロッカー等の設置」 ランナーやサイクリストなどの公園利用者が、シューズやスポーツ用品が保管できる個人用レンタルロッカーを設置し、手軽に利用できる環境を整えます。			
2	「スポーツ用具等の貸出し・販売等」 トレーニングルームの利用者に対して、レンタル用のスポーツ用品(シューズ等)を用意し、いつでも、気軽に、手ぶらでも立ち寄れる環境を作ります。また、テニスボールやラインテープなど競技に必要な消耗品を販売します。			
3	「自動販売機の設置」 利用者がスポーツをより安全・快適に楽しむことができる環境整備の一環として、各所に自動販売機を設置します。また、災害対応自動販売機も設置し、災害時の飲料水確保にも対応します。			
4	「会議室・カフェテリアスペースの提供」 大規模行事を行う際に、会議室・カフェテリア等の諸室を提供します。主催者の希望等に柔軟に対応、物販・飲食サービス等の場を提供してまいります。			
5	「写真・動画撮影等ロケ地への協力」 施設において雑誌などの写真やテレビ・映画撮影の動画など、撮影を希望する団体等に撮影協力を行います。学術研究、報道関係の取材、本施設の広報に寄与すると認められる時は内容審査の上、無償対応とします。			
● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。			繰入額①	収入総合計③
● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。				
● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。			支出総合計② (①を含む。)	差引④(③-②)
● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れられる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。				

提案課題3-1(5)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[令和5年度(2023年度)]

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
6	<p>「イベントスペース・諸室等の提供」</p> <p>公園や施設全体を使用した大規模イベントや駒沢地区全体の賑わいに供する催し物の開催に際し施設の一部を提供します。</p>			
7	<p>「駐車場の運営」</p> <p>利用者の利便性向上のため、駐車場の運営を行います。専用駐車場は貸出時間を24時間、新専用駐車場は貸出時間を原則7時～23時、</p>			
8	<p>「利用団体会用倉庫の貸出し」</p> <p>大きな荷物の運搬が必要な大会主催者等に対し大会に使用する用具等を預かるための倉庫を貸出します。</p>			
9	<p>「複写機の貸出し」</p> <p>大会やイベント等で大会運営に使用するための複写機を貸出します。</p>			
10				
			繰入額①	収入総合計③
			支出総合計② (①を含む。)	差引④(③-②)

- 利用者サービス事業の具体的な提案を記述すること。
- 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の5年度の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れられる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

(1) 広報

複合的かつ戦略的な広報により効果的な情報提供を実施します

- 若年層や働き盛り世代への情報発信を強化するため、SNSやデジタル媒体を積極的に利用します
- 複合的かつ戦略的な広報により、都民がスポーツに触れる機会を拡充します



1. グループの発信力を高めるための戦略的な広報

施設の魅力を高めるための様々な手法による広報戦略

①既存広報、ホームページ、SNSの充実

- ・代表団体Aの広報誌「スマイルスポーツ」を引き続き発行するとともに、ホームページ上の「スマイルスポーツサイト」でデジタルブックとして配信し、本施設の事業をはじめ、様々なスポーツ情報の発信を強化します。
- ・本サイトでは、各種事業等を広く都民に訴求し、24時間いつでも事業の申込みを可能とします。また、デジタルデバインドにも配慮し、電話窓口も設置します。
- ・ホームページの作成にあたっては、ウェブアクセシビリティに関する日本産業規格「JIS X8241-3」の適合レベルAAに準拠し、スマートフォン専用サイトの用意など利便性向上を維持します。
- ・Facebook、TwitterなどのSNSを通じて、イベント等の情報を随時発信するとともに、来場したアスリートなどの協力を得た話題性のある情報、他の都立スポーツ施設等のSNSアカウントのフォロー・リツイートなど、多彩な内容を発信します。
- ・各施設に設置された掲示板等を活用し、施設の貸出状況や主催事業のPR、スタジオプログラムスケジュール、休館日など、タイムリーな情報発信を行います。



「スマイルスポーツ」デジタルブック

②スポーツ案内ポータルサイトとの連携

- ・代表団体Aが運営するスポーツ案内ポータルサイト「SPOPITA」では、実際にスポーツをしたいと思った時に利用可能な「都内スポーツ施設」や各地で行われている「スポーツ教室・イベント」を検索できます。
- ・現在、「SPOPITA」を「新たな情報プラットフォームサイト」に拡充すべく検討を進めています。今後は、代表団体AのHPとの連携を強化し、都内スポーツ施設のイベント参加時に獲得できるスポーツ気運継承事業のデジタルポイントとの相互利用を図るとともに、地元限定クーポンの発行を検討する等、地域振興にもつなげていきます。



スポーツ案内サイト「SPOPITA」

③その他広報戦略の充実等

- ・広報東京都など引き続き東京都の広報、報道発表に協力するとともに、スポーツ紙、雑誌、テレビ等に直接プレス素材を提供することで、情報発信の幅を広げます。
- ・東京オリンピックメモリアルギャラリーを活用し、1964東京大会のレガシーと併せて東京2020大会の周年行事やレガシーの継承に向けた広報活動を展開します。
- ・館内各所へのデジタルサイネージの整備を進め、大会の情報や施設の利用案内等を掲示し、施設の利用促進を図ります。
- ・本施設の概要や利用状況をまとめた要覧、代表団体Aが管理する都立スポーツ施設の利用方法をまとめた施設利用ガイドを毎年度発行し、各関係行政機関や利用者に配布します。
- ・防災訓練や施設利用で築いてきた関係を生かし、目黒区・世田谷区に各種事業の広報協力を依頼するとともに、公園内、商店街や最寄りの駒沢大学駅等の掲示板を活用して、地域広報の充実を図ります。
- ・地元小中学校を通じ、事業のチラシを子供たち及び子育て世代に個別配布していきます。



駅掲示板での広報

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(2) 業務の品質管理

**利用者ニーズを捉え効果的な業務改善、ルール改正を継続的に行います**

- 関係団体の協力を得て、利用者だけでなく潜在的な利用者からの声も収集します
- OODA ループ、PDCA サイクルに基づき計画的かつ継続的に業務改善を行います
- コンソーシアム各社、委託業者間のサービスレベルマネジメントにより業務効率化、品質向上に繋がります

1 利用者ニーズや要望の把握

代表団体Aは以前から利用者満足度調査やご意見箱の設置、来場者への声かけなど、様々な方法により利用者ニーズを把握し、業務改善を図ることで、利用者の不安要素の払拭に努めています。

※令和3年度利用者満足度調査

「十分満足」「まあ満足」が97.0%（個人）、95.5%（団体）

- ・様式3-2-(1) 広報既出のプラットフォームサイトの開発の際には、関係団体やSNS利用者だけでなく、(一財)東京マラソン財団や構成団体Cなど関係団体のメーリングリストも活用した**大規模なアンケートを実施し、4千名以上の方からのご回答いただきました。**今後も**当グループが有する幅広いネットワークを活用し、様々な場面で、デジタル媒体を活用し、既に利用されている方だけでなく潜在的な利用者ニーズの把握に努め、業務に反映することで、業務の品質向上を図ります。**
- ・また、近隣団体や地元商店街との意見交換、**利用者懇談会**など、直接意見を伺う場を通じ、利用者・都民の声を敏感にキャッチしていきます。

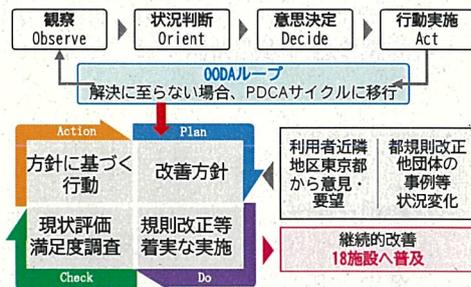


WEBアンケート

2 業務改善や情報共有の仕組み

①業務改善の考え方

- ・現場は刻々と状況が変化することから、迅速な対応が求められることがあります。軽微な業務改善については、経験豊富な当グループの現場職員が、指示を待つことなく自らの経験と判断に基づき対応する「**OODA ループ**」の思考法により、**現場職員が迅速かつ臨機応変に対応**します。
- ・一方、利用時間延長など、抜本的な業務改善については、利用者や都からの要望等も踏まえ、「**PDCA サイクル**」の思考法により、**組織として問題解決**にあたります。
- ・OODA ループとPDCA サイクルによる相乗効果を高めるため、迅速かつ着実な業務改善を行うとともに、マニュアルの改訂を図るなど、全スタッフで情報共有し、改善を継続します。



OODA ループとPDCA サイクルによる相乗効果

②情報共有

- ・当グループは、各業務担当責任者が参加する**実務担当者会議**、構成団体の責任者から成る**コンソーシアム会議**、代表団体Aが管理している都立スポーツ施設の代表が集まる**経営会議**など、様々な情報共有の場があります。各情報共有の場を最大限活用し、課題を定性、定量的に分析し、統一的な目的を持って改善するとともに、成功事例についても共有するなど、**当グループ全体でのサービスレベルを常に向上**させます。
- ・また、当グループで得られた知見等については、東京都の実施する**パートナーシップ会議**のほか、予約システムの維持管理業務など**代表団体Aが実施する他施設への調整業務**を通じ、本施設以外の都立スポーツ施設と積極的な情報交換を行います。スポーツ施設共通の課題と対応策を見出し、共有することで**18施設全体の水準を向上**させます。

内容	改善策
性別が異なる障害者と介助者が利用できる更衣室がない	空きスペース活用し、更衣室設置
硬式野球場利用者のかけ声や放送設備の音量が大きい	指定管理者経費で騒音測定を実施・防音シート設置
スタジオプログラムがすぐ満員になり参加できない	定員等、運用方法見直しにより改善

これまでの改善事例

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

3 都立スポーツ施設等のネットワークを生かした取組

## 18施設のネットワークへ積極的に参画し、総合スポーツ施設のポテンシャルを最大限発揮します

- 都のスポーツ振興施策に精通し、管理運営のノウハウを有する代表団体Aが、18施設連携を先導する機能を発揮します
- 競技団体や利用者へ寄り添うコンシェルジュとして、窓口をワンストップ化し、予約や施設利用に関する問合せ等に対応します
- 公園の総合スポーツ施設としての特性を踏まえ、多様な活用によりスポーツ振興に貢献します

### 基本的な考え方

- 代表団体Aは、政策連携団体として、これまで培ってきたノウハウや関係団体とのつながりを活用し、18施設ネットワークをさらに強化するため、東京都スポーツ振興審議会で示された「発信の強化」「ニーズ対応力の強化」「一体的な取組によるスポーツ振興」の3つの視点を軸に、下記のような取組を実施します。

### スポーツフィールド東京の実現に向けて

18のスポーツ施設の連携の中心を政策連携団体である代表団体Aが担う



18施設の連携(様式1 管理運営の基本方針既出)

### 1 18施設のネットワークを活用したポテンシャルの発揮

#### 一体的かつ戦略的な広報・情報発信による「発信力の強化」

- 代表団体Aが運営するスポーツ案内ポータルサイト「SPOPITA」において、今後、18施設全ての3Dビュー・VR映像を掲載するほか、各施設の混雑情報や近隣のグルメ情報等の施設検索機能を拡充し、各施設の魅力等を発信していきます。
- また、



スポーツ案内ポータルサイト「SPOPITA」

など、新たな取組を進め、18施設のPRに寄与します。

- さらには、「SPOPITA」を都内のスポーツ情報を一元化した「新たな情報プラットフォームサイト」へと進化させるため、先般、施設利用者を対象とした大規模なアンケートを実施しました。その結果を踏まえ、今後、東京都とも連携しながら、更なる発信力の強化を図っていきます。
- 本施設においても、Facebookでの3Dビューを公開する等で施設情報を積極的に発信するとともに、各施設のSNSのフォロー・リツイート等を通じてイベント等の広報において相互に協力し、都立スポーツ施設全体の発信力向上に貢献します。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

### ③施設利用調整

- 代表団体Aは、東京体育館をはじめとする都立施設の運営実績や利用団体との深い信頼関係を生かし、管理施設の利用希望が重複した際、他施設と予約情報を共有しながら、利用者ニーズに合った施設を提供しています。今後はさらに、重複した行事の相互融通や施設の利用調整が行えるよう、施設間の連携・協力体制の構築を図り、18施設のネットワークを強化します。
- これまでも本施設では、利用団体のニーズを踏まえ、東京体育館と調整し、ウインターカップを開催してきました。今後も、より積極的に他施設の活用について調整していきます。
- 令和5年度からの体育館休館に向け、体育館へのニーズを可能な限り屋内球技場で受け入れるよう調整するとともに、ネットワークを通じた他施設との調整を行い代替可能な施設を紹介する等、より多くの大会等のニーズに応えます。

### 18 施設共通コンセプトの「一体的取組によるスポーツ振興」

- 代表団体Aは現在、都民のスポーツ実施率を向上させるため、「スポーツ気運継承事業」を運営しています。今秋より、対象のスポーツイベントに参加するとデジタルポイントが貯まり、景品と交換できるスタンプラリーを実施します。18施設も含め、都内で開催されるスポーツイベントも対象とすることで、一体的取組によるスポーツ振興に貢献します。



スポーツの日記念事業の様子

- スポーツの日記念事業では、代表団体Aが管理する4施設を中心に、YouTube等により双方向での放映を行うことで各会場をつなぎ、スポーツの日を盛り上げます。さらに年度末には上記ポイントの獲得者に景品を贈呈するなど、4施設合同の「スポーツ交流フェスタ(仮)」を開催します。将来的には、18施設共通のコンセプトにより開催するイベントについても積極的に取り組むことで、一体的取組によるスポーツ振興に寄与します。

## 2 施設の特徴を活かした多様な活用

### スポーツでの更なる活用の充実

- 中学校から大学までの各種競技の全国・全都レベル大会やプロスポーツ等、高いレベルの大会等を「みる」機会を創出するとともに、「屋外スポーツ部活合同練習会」の開催を通じて学校の部活動による施設利用を促進し、競技力向上を図ります。
- 「ニュースポーツ見本市」等によるレクリエーション体験やオリンピックを招いたスポーツ教室、指導者講習会の開催など、スポーツを「する」「支える」機会を提供し、スポーツを通じた都民の健康づくりを推進します。

### スポーツに限らない多様な活用を通じた新たな体験の提供

- ユニークベニューの一環として、TVやYouTube等の撮影ロケ地として提供や、理容美容専門学校技術コンテスト等のイベントを開催するなどにより、スポーツ目的に限らない来場者の増加を図り、本施設、更に駒沢地域全体の盛り上がり貢献します。
- 「ラーメンショー」などの公園で開催される大規模フードイベント等に合わせてニュースポーツ体験の場を設けるなど、イベント参加者や公園利用者に新たな体験を提供します。
- 東京オリンピックメモリアルギャラリーを中心に、1964東京大会と東京2020大会の各競技の記録を比較して体感できる等、1964東京大会レガシー施設としてオリンピック・パラリンピックの歴史を最も身近に感じられる場を創出します。

### 公園や地域との連携による駒沢地域の活性化

- 公園のジョギングコースやSS広場を活用した公園協会との共催事業や、トレーニングルームのランニングステーションとしての運営等、公園利用者とスポーツ施設利用者の垣根を超えて公園全体でスポーツを楽しめる場となるよう取組を進めます。
- スポーツの日記念事業等のイベントへの地元商店街の出店や、スポーツツーリズムの一環として東京オリンピックメモリアルギャラリーとのコラボレーション企画を検討する等、多様な人々が駒沢に集まる仕掛けを工夫し、地域の活性化につなげます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 業務ごとに専門性の高い職員を配置し効果的・効率的に施設を運営します

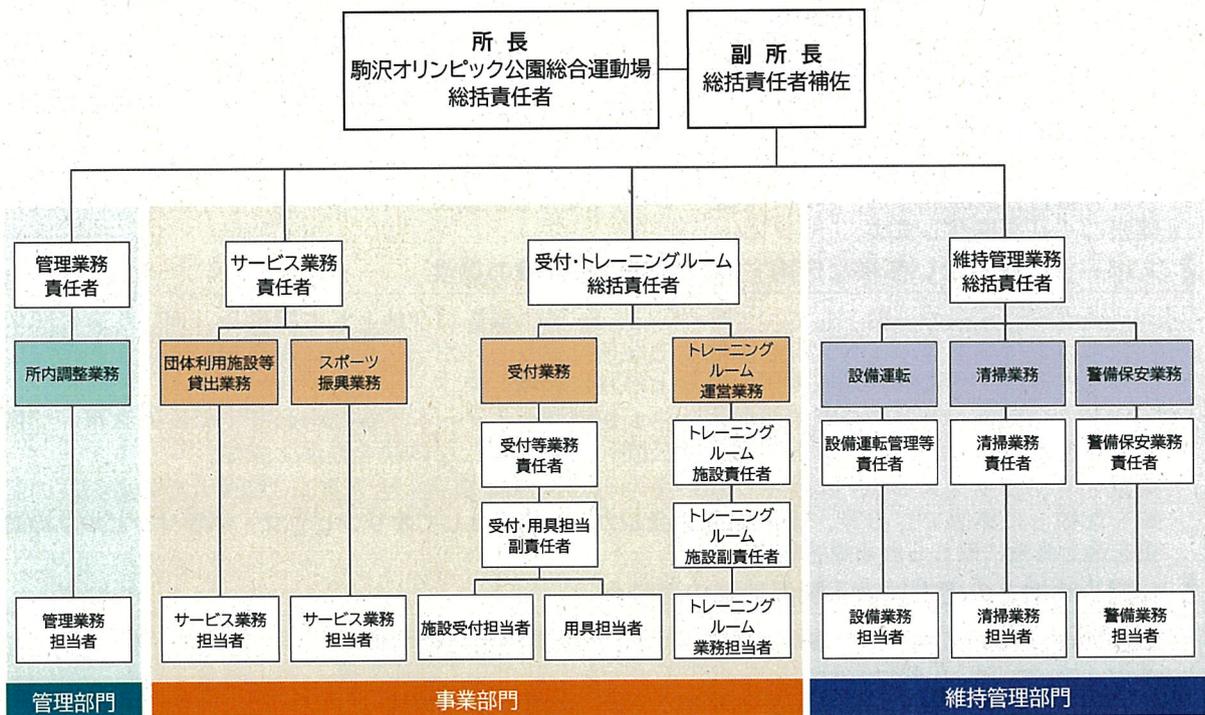
- 総括責任者である所長をトップ、副所長を総括責任者補佐に、多様化するニーズに対応できる強固な組織体制を整備します
- グループ各団体の長(メリット)を生かし、経験と専門性を備えた人員を配置します
- 過去4期 17年間の指定管理者として培ったノウハウやネットワークに加え、明確な役割分担と強固な連携により、効果的な運営を実施します



### 1 組織運営体制の基本的な考え方

#### 多様化するニーズに対応できる強固な組織体制

- ・施設の総括責任者である所長をトップ、副所長を総括責任者補佐とし、業務内容に応じ、必要な**経験・知識・技能を有する職員・スタッフ**を配置することで、多様化するニーズに対応できる強固な組織体制を整備します。
- ・業務ごとに責任者を配置し、グループ内の連携体制、委託企業に対する管理体制等の統率を行うことで、**グループ内での役割分担を明確化**し、確実かつ効率的に業務を遂行します。
- ・大規模大会開催時や緊急・災害時には、代表団体Aが管理する複数の都立スポーツ施設やコンソーシアム構成団体の本社スタッフの応援も含めた**バックアップ体制を構築**し、柔軟に人員体制を整え、大会運営のサポートやサービス提供の継続に努めます。
- ・本施設は駒沢オリンピック公園内にあり施設も多数管理していることから、公園協会や各施設各部門と十分なコミュニケーションを図り、全スタッフがお互いの業務内容を理解した上で、日々の運営に取り組んでいきます。
- ・**大規模大会の運営経験**やこれまで構築した**各スポーツ関連団体との信頼関係**を活かして、本施設で開催される大会・イベントをサポートします。



管理運営の組織体制図

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 2 各部門の人員配置

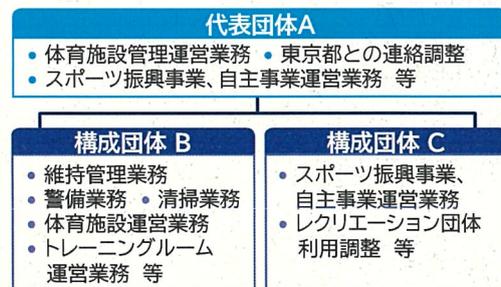
### 経験豊富な専門人材の配置による運営品質の向上

- ・過去4期 17年にわたり本施設を運営してきた経験豊富な各部門の職員が安心・安全かつ快適な施設運営を行います。
- ・代表団体Aの職員は、複数の都立スポーツ施設の維持管理部門と事業部門をジョブローテーションすることで、多くの団体と関わる機会を創出し、利用の調整や事業の実施において必要となる**利用団体・関係団体との高い信頼関係を構築**します。
- ・豊富な接遇経験により培った高いコミュニケーション力と公平・公正な施設運営により、都立スポーツ施設の指定管理者として満足度の高い施設運営を行います。
- ・スポーツ施設の管理運営実績に基づく利用者数予測を踏まえ、管理運営・安全確保に**必要な人数を配置**します。
- ・本施設の管理基準に基づき、**資格要件を満たしたスタッフを適切に配置**するとともに、資格試験受講料の補助などによる上位資格の取得の支援を行い、運営の品質を高めます。
- ・利用者に分かりやすい情報発信できるよう、代表団体Aの全職員にデジタルメディアの活用についての広報研修を実施します。さらに、代表団体Aの事務局に**広報担当を配置**し、グループの統一的な広報戦略を実施します。
- ・代表団体Aでは**DX担当職員を配置**し、リモートワークの整備や手続のデジタル化を行ってきました。今後も組織的にデジタル技術の活用を推進していくことで、業務の効率化や利用者の利便性の向上を図ります。

## 3 グループ内の役割分担と連携

### グループ内の明確な役割分担

- ・当グループは、右図に示す各々の担当業務について、全面的に責任を持ちます。
- ・代表団体Aは、東京都との連絡調整及び構成団体内の連絡調整を行うとともに、施設運営全般を総括し、本施設の運営を通して、都民のスポーツ振興に寄与します。
- ・構成団体Bは、施設の維持管理・受付用具・清掃・警備・植栽管理業務を行い、利用者が安心・安全・快適に使用できる施設づくりを行います。また、トレーニングルームの運営業務やスタジオプログラムを通じて、都民の健康増進に寄与します。
- ・構成団体Cは、レクリエーション体験会や指導者講習会等の事業の実施を通じて、都民の誰もが体を動かすことの楽しさを感じられる機会を創出します。



グループ構成団体の役割分担

### 職員・スタッフ間の円滑なコミュニケーションを促進する組織体制を確立

- ・構成団体間で「**実務担当者会議**」や「**コンソーシアム会議**」を行い、職員・スタッフ間のコミュニケーションを促進します。
- ・利用者や都民の多様化するニーズへの対応について、業務責任者主導の下、職員・スタッフ間で検討を行い、管理運営状況についての共通認識を図ります。
- ・情報交換をスムーズに行い、コミュニケーションのとれた職場とするため、右図の6つの視点から、報告・連絡・相談を行うよう職員・スタッフへの教育を行います。

#### 報告・連絡・相談の6つの視点

- 1 問題点を明確にする
- 2 緊急性を判断する
- 3 直接「報告・連絡・相談」する
- 4 要点を簡潔にまとめる
- 5 相手の立場を尊重する
- 6 問題や相談者をフォローする

情報交換をスムーズに行うための6つの視点

## 5 東京都への連絡・調整・報告体制の確立

### 東京都への連絡・調整・報告体制の確立

- ・管理業務責任者が東京都への連絡窓口業務を担当するほか、緊急時は、副所長から**迅速に東京都に報告**する体制とします。
- ・大規模大会の開催等に当たっては、東京都と綿密に情報交換、意思疎通を図るとともに、関係団体等との連絡調整を実施することで、緊急事態にも対応可能な体制を整えます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題 4-1 別表 各部門の所要人員

役 職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1 週間の 勤務時間
			常勤	非常勤	委託	
施設 配置 人員	所長					
	副所長					
	管理業務責任者					
	管理業務担当者					
	サービス業務責任者					
	サービス業務担当者					
	サービス窓口担当者					
	維持管理業務 総括責任者					
	設備運転管理等業務 責任者					
	設備業務担当者					
	警備保安業務責任者					
	警備業務担当者					
	受付等業務責任者					
	受付、用具担当 副責任者					
	受付、用具担当者					
業務 委託	トレーニングルーム 施設責任者					
	トレーニングルーム 施設副責任者					
	トレーニングルーム 受付従事者					
	トレーニングルーム 業務担当者					
	清掃業務責任者 清掃業務担当者					

## 所長を中心とした明確な責任体制を構築します

- 業務全般の総括責任者である所長をトップ、副所長を総括責任者補佐に、業務権限と責任の範囲を明確化します
- 各部門の責任者には、それぞれの分野における長年の経験や所定の資格を有する者を充て、適切な業務執行と危機管理を徹底します



### 1 責任者の役割

- ・施設の業務全般を統括する責任者として、所長を配置します。
- ・所長のもと業務ごとにラインを明確にし、それぞれの責任者が、業務の進行管理、スタッフへの指示、各部門間の調整等を行います。

役割一覧

	役職名	主な業務内容
代表団体	所長・本施設総括責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施設業務全般の責任者</li> <li>・個人情報保護管理責任者</li> </ul>
	副所長・本施設総括責任者補佐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理部門及びサービス・事業部門全般の責任者及び所長の補佐</li> </ul>
	管理業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営業務の責任者</li> <li>・東京都との連絡調整</li> <li>・コンソーシアム構成団体間並びに公園協会等関係部署との調整業務の責任者</li> </ul>
	サービス業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場、体育館、屋内球技場、第一球技場、第二球技場、補助競技場、硬式野球場、軟式野球場、テニスコート、弓道場及び東京オリンピックメモリアルギャラリーの運営業務責任者</li> <li>・施設及び付帯設備の使用承認、利用団体との連絡調整の責任者</li> <li>・スポーツ振興事業、自主事業の企画及び運営の責任者</li> </ul>
団体及び個人使用	受付・用具等業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館、屋内球技場、第二球技場、補助競技場、硬式野球場、弓道場及び東京オリンピックメモリアルギャラリーの相談窓口・受付での施設利用受付案内業務責任者</li> <li>・コンソーシアム構成団体間の調整業務</li> <li>・代表団体Aとの連絡・相談窓口</li> <li>・受付案内業務担当者に対する人材育成</li> <li>・陸上競技場、体育館、屋内球技場、第一球技場、第二球技場、補助競技場、硬式野球場、軟式野球場、テニスコートにおける用具点検、グラウンド整備等業務の責任者</li> </ul>
	トレーニングルーム施設責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングルーム・スタジオプログラムの業務総括責任者</li> <li>・トレーニングルーム個人情報管理責任者(情報管理の実務運用責任者)</li> </ul>
維持管理	維持管理業務総括責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理業務全般の責任者</li> <li>・各種点検作業等の日程調整</li> <li>・各業務の履行状況確認</li> <li>・グループ構成団体間の調整業務</li> <li>・代表団体Aとの連絡・相談窓口</li> <li>・サービスセンター窓口・トレーニングルーム総括責任者兼務</li> </ul>
	設備運転管理等責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備担当者への業務指示</li> <li>・定期(法令・自主)点検の日程調整</li> <li>・簡易修繕の実施</li> <li>・省エネルギーの推進等</li> </ul>
	清掃業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃担当者への業務指示</li> <li>・重点清掃箇所等の確認</li> <li>・定期作業の日程調整</li> <li>・清掃作業時の立会い及び履行確認</li> </ul>
	警備保安業務責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警備担当者への業務指示</li> <li>・構成団体B本社警備保安部との報告・相談窓口</li> <li>・教育訓練の日程調整</li> </ul>

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

### 適切な勤務体制・人員配置により業務品質を確保します

- 関係法令を遵守し、適切な勤務ローテーションを組み、業務品質を確保します
- 大規模大会に対応してきたノウハウを生かし、適正な人員配置を行います
- ライフ・ワーク・バランスを踏まえた働きやすい労働環境を整備し、効果的・効率的に業務を遂行します



#### 1 勤務体制、労働環境及び人員配置

##### 適切な勤務体制の構築と、柔軟な人員配置による業務品質の確保

- ・勤務シフト間で漏れなく引継事項を共有し、スタッフの業務品質の確保と質の高いサービス提供を行います。
- ・大規模イベント開催時等には、ノウハウを生かした規模・観客者数の予測に基づき、必要に応じて当グループを挙げて応援スタッフを投入し人員を確保する等、最適な人員配置を行います。

##### 働きやすい労働環境の整備

- ・関係法令等を遵守し、シフト勤務制による適正な労働時間の管理、有給休暇の付与、福利厚生の実施、ストレスチェック、産業医による健康相談、健康診断などを実施することで、適正な労働環境を確保します。
- ・新卒・既卒学生就職サイトを活用した職場情報の提供を行い、若年層の雇用を促進します。
- ・代表団体Aでは、出産・育児休業、特別休暇・時短勤務等の制度を充実させ、女性の活躍を推進しており、女性の雇用率は常に5割以上となっています。男女ともに育児や介護に係る休暇を取得しやすい運用に努め、職員全員が働きやすい職場環境をより充実させます。

## 充実した教育研修により安全・安心な環境と高品質なサービスを提供する職員・スタッフを育成します

- 目標管理制度の実施により職員・スタッフのモチベーションと業務の質を向上します
- 英会話や障害者対応等の研修でダイバーシティ&インクルージョンへの意識向上を図ります
- 人材育成方針に基づいた公共施設管理運営に必要な研修の計画的な実施と、資格取得支援制度により、資質・能力の向上を目指します



### 1 人材育成の取組

#### 目標管理制度の実施

- ・ 全職員を対象に、**目標管理制度を継続的に実施**します。
- ・ 責任者との個別面談を実施し、自己の目標の設定サポートと業務の質の向上をリンクさせることで、職員のモチベーションアップと、専門的な技術や能力の向上を図ります。
- ・ 自らの強みの分野を持ちつつ、管理部門とサービス部門の双方を経験させるなど、幅広い知識・能力を高める配置管理を実施します。
- ・ **昇任制度**をさらに充実させ、職員のモチベーション向上と計画的な人材育成につなげます。

#### 公共施設の管理運営に必要な研修の実施・資格取得の奨励

- ・ **eラーニングによる研修手法**も取り入れ、年間を通じて**計画的な研修**を行うことでスタッフの資質向上と、効率的な業務運営を行います。
- ・ スポーツ施設管理士、障がい者スポーツ指導員、ITパスポート等、資格取得に係る経費を補助することで、**資格の取得を奨励**し、職員のモチベーションを高めます。
- ・ スタッフの業務レベルの更なる向上、自主的なスキルアップを支援するため、外部機関が実施する研修への参加を積極的に奨励します。
- ・ 業務スキルの早期取得のため、先輩職員から実践形式で個別の教育指導（OJT）を行います。
- ・ 東京都政策連携団体等職員向け研修を含め、職層別研修・実践力向上研修・実務研修等、約40本の研修を実施します。

#### 利用者・社会的ニーズに応じた研修の導入

##### ①インクルーシブな施設利用に向けた研修の実施

- ・ ダイバーシティ&インクルージョンへの意識向上を図るため、障害者対応や英会話、接客等に関わる研修を導入し、多様な利用者ニーズにきめ細かく応えます。

##### ②DX推進研修の実施

- ・ デジタルを活用して施設サービスを変革していくため、デジタルツール等に関する理解を深め、デジタル社会に対応します。

##### ③広報力向上研修の実施

- ・ 施設の魅力や各種事業を効果的・効率的にPRするため、ホームページやSNS等の広報ツールごとの特長や活用事例に関する研修を行い、発信力を強化します。

主な研修一覧表(1/2)

区分	研修名	研修内容	回数	専門研修 (担当業務名)
全体研修	新任研修	・職員・スタッフとしての基礎	1回/年	—
	個人情報保護研修	・個人情報保護体制、Pマーク制度	2回/年	—
	コンプライアンス (法令順守)	・法令及び規則等の確認 ・コンプライアンス教育の徹底	2回/年	—
	救命講習	・応急措置法、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)技能取得	2回/年	—
	危機管理対応研修 (避難誘導訓練)	・緊急時対応(火災・地震発生時)	2回/年	—
	接客研修	・接客教育、苦情・要望対応の心構え・注意点	1回/年	—
	障害者対応研修	・障害者等対応、人権、多様性の理解等	1回/年	—
	英会話研修	・外国人対応の基礎、英語による実践	随時	—

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題4〔組織及び人材〕 4 人材育成の取組

主な研修一覧表(2/2)

区分	研修名	研修内容	回数	専門研修 (担当業務名)
全体 研修	D X 推進研修	・デジタルツールへの理解	随時	—
	広報力向上研修	・広報ツールごとの特長や活用事例	随時	—
業務別 研修	マネジメント研修	・シフト編成、管理方法 ・採用、研修方法	随時	各業務責任者
	オペレーション スキル研修	・各種受付方法 ・館内利用説明方法	随時	受付業務スタッフ 警備スタッフ
	体育施設管理資格研修	・体育施設管理に関する専門員養成	随時	用具業務担当者
	専門知識研修 (トレーニング)	・トレーニング方法、マシン操作等	随時	トレーニングルーム スタッフ
	フォローアップ研修 (トレーニング)	・業務マニュアルに沿って意思統一 ・質の向上	1回/月	トレーニングルーム スタッフ
	警備講習	・警察OBでもある警備員指導教育責任者による監視、トラブル・利用者対応について	1回/年	トレーニングルーム スタッフ
	指定管理者講習	・指定管理者としての心構え ・施設の設置目的達成のための検討	2回/年	各業務責任者
	顧客満足度(CS) について	・マニュアルによる接客研修 ・CS向上に向けての取組検討 ・苦情処理方法の確認	2回/年	受付業務スタッフ
	環境への配慮	・省エネルギーの徹底 ・ISOの展開について	2回/年	設備業務スタッフ
その他	外部研修への派遣	・資格取得または上級資格取得のための講座・研修への参加	適時	研修内容による



内部研修



危機管理対応研修(避難誘導訓練)

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

予防保全の考え方の下、老朽化した施設で想定される修繕に備えた効果的な維持管理を展開します

- 本施設の維持管理業務に長年従事してきた経験とノウハウを生かし、着実に業務を遂行します
- 予防保全を基本とした計画的な業務遂行により、施設の長寿命化とLCCの縮減を図ります
- 有資格者を適切に配置し、PDCA サイクル活用による業務品質を確保します



1 施設設備及び物品の維持管理の基本的な考え方

維持管理方針

- ・竣工から約60年を経過する施設も多く、これまで施設保全業務に従事してきた職員により長年培ってきた経験とノウハウを生かし、本施設の特性に配慮した維持管理を実施します。
- ・施設を熟知したスタッフの知見を生かし、月1回の「安全・点検パトロール」を実施して、緊急対応、東京都への補修要望を行います。
- ・公益法人として予防保全を基本に長期的な視点に立った維持管理と、東京都の改修計画に則りライフサイクルコスト(LCC)の縮減も考慮に入れた延命措置等、バランス良く業務を遂行します。
- ・ISO9001(品質マネジメントシステム)や、ISO50001(エネルギーマネジメントシステム)の考え方を導入し、製品・サービス提供業務の明確化と標準化を目標に業務手順を文書化することで誰でも同一レベルのサービス提供が可能な体制を構築します。
- ・管理運営基準に記載された有資格者を配置し、日常の保全業務内で簡易な修繕作業に積極的に取り組みます。



ISO 9001 認証

2 きめの細かい維持管理と快適な施設管理

各業務における取り組み

①施設保全業務

- ・業務マニュアル、業務計画書(日常、月間、年間)、保全計画、体制表を作成し、日常点検・定期点検を実施します。
- ・日常・定期点検に加え、休館日や予約の入っていない空き時間帯を利用した設備・機器の維持保全を実施します。



機器の点検の様子(本施設)

②清掃業務

- ・ドアノブやテーブル等のコンタクトポイントを、殺菌効果のある薬剤を使って清掃し、併せて感染症対策の徹底を図ります。
- ・建築物清掃管理評価資格者による品質評価(インスペクション制度)を実施し、最適な清掃方法と継続的な品質向上を図ります。(2回/年)
- ・大規模大会時には、清掃箇所や回数の変更によりスムーズな大会運営に貢献しています。



品質評価(インスペクション)の様子(本施設)

③保安警備業務

- ・定位置警備、定時巡回警備による犯罪抑止とともに、利用者に対する声かけによる確認を徹底します。不審物、落書き、たき火等に注意を払い、警察・消防とも連携して対応します。
- ・公園と一体的に警備を行うことにより、公園エリア一帯の治安維持に取り組みます。

④植栽管理業務

- ・公園並びに周辺居住地区との景観に調和する樹形の維持と、ランニングコースに係る樹木の安全性の確保、植物の成長段階に応じた育成管理の3つの視点に立った管理を行います。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

### 施設ごとの公認取得に向けての整備

- 陸上競技場の（公財）日本陸上競技連盟第2種公認、及び第二球技場・補助競技場の人工芝（公財）日本サッカー協会公認について、継続して取得できるよう、必要な補修等を着実に実施していきます。

### スポーツターフ等の維持管理

- 陸上競技場天然芝は、東京2020大会公式練習会場やラグビーリーグワンなどトップスポーツの会場として最高品質のピッチを提供してきました。等、日本を代表する施設も手掛け、**施設の特性を知り尽くしたグラウンドキーパー**が、夏芝と冬芝の切り替え時期、種子散布の回数、施肥散布の時期、生成方法やディボット修正、挿植等の作業を生育状況に応じてきめ細かく判断・実施し、**常緑天然芝を維持**していきます。
- 屋内球技場屋上緑化に関しては、円形カーブ状の屋根に大規模な緑化を施した事例は全国的にも少なく、鳥害被害や、種子の飛散、土壌の流失などが起こりやすい状態であり、スタッフと作業内容を慎重に検討しながら保全を行います。また、灌水システムの雨水利用や試行的に日照時間によって散水量を調節するプログラムを設置し、水道使用量の抑制にもつなげます。

主な作業項目	具体的な内容
陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画管理計画表を作成、ボール競技刈り高を競技種目に支障がないよう刈り込む</li> <li>4月～6月：冬芝(ペレニアルライグラス)を低刈、夏芝(ティフトン)に日照を与え、自然切り替え</li> <li>10月：冬芝の播種(ピンスパイク、播種及び施肥、オーバーシードの順)</li> <li>芝草の育成状況、季節に応じ肥料の種類を検討の上散布。年2回酢及び有機肥料散布</li> <li>生育環境及び見栄えを考慮し、フィールド内で目立たない箇所からディボット芝補植</li> <li>ダメージの大きい大会開催時にはディボット等を速やかに補修。ダメージ拡大を防止</li> <li>芝の生育状況と気候に応じて、除草及び散水等芝生の健康な育成管理</li> <li>ラグビーゴールポストの設置</li> <li>大会開催時に団体からの要望があるときは、競技用ラインを引く</li> </ul>
軟式野球場・弓道場	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画管理計画表を作成、ボール競技刈り高を競技種目に支障がないよう刈り込む</li> <li>芝の生育状況と気候に応じて、除草及び散水等芝生の健康な育成管理</li> </ul>
屋内球技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成量の片寄、鳥被害、土壌流出、病虫害等について監視</li> <li>施肥の際は来園者の影響を考慮し、立入禁止区域設定をして実施</li> <li>手抜き除草、灌水システムの監視</li> </ul>

## 3 備品の管理

### 点検・記録による管理

- 東京都が調達した備品は、定期的に品名、規格、数量、金額、購入年月日、使用場所、使用状況等を確認します。
- 定期的な棚卸しと6つの視点に立った性能確認を日常的に行い、東京都が調達した備品の破損や不具合、また移動や変更等が生じた際は速やかに東京都に報告します。
- 当グループが設置する備品も同様に、台帳を整備しデータベース化するとともに、定期的に状態を確認し、修理や処分の計画立案を行います。また、シールの貼り付け等により、備品を区別して管理します。

#### 6つの視点

動作・音	怪我リスク	劣化・亀裂
正しく動作しているか、異音はないか	触れる部分に鋭利な箇所はないか	劣化や亀裂はないか
緩み	塗装・錆	汚れ・異物
接合部に緩みや欠陥はないか	著しい塗膜剥離や錆びの発生はないか	著しい汚れや落書き、異物等はないか

備品性能確認の6つの視点

## 4 業務の再委託

### 再委託業務のマネジメント

- 高度な技術が必要とされる維持管理業務は、専門事業者の協力を得て対応し、**厳格な管理指示のもと高い品質を確保**することにより、**安全・安心な施設環境の提供**に努めます。
- 業務にあたっては、**事前に作業計画書の提出**を求め、業務内容を把握するとともに、**打ち合わせ**を通じ、**サービス品質や安全性、公共性を確保**します。
- 作業中から都度の履行確認・指示を行い、作業終了・報告書の提出まで適切に監督します。

※再委託業務の一覧及び金額等につきましては、提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳をご参照ください。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(2) 施設の修繕

老朽化や複雑な施設構造に対し、経験とノウハウを生かして適切な修繕を実施します

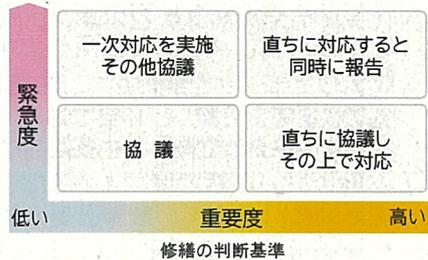
- 本施設を熟知した当グループにより老朽化が進み複雑な構造の施設の安定稼働を担保します
- 保守・点検データの一元管理ITを活用し、スタッフ間で共有・確認の下、予防保全を展開します
- 休館日や予約のない時間帯に修繕を行うことで、施設利用者への影響を最小限に抑えます



1 施設の修繕業務

業務の方針

- ・老朽化している施設が複数あるため、修繕、現状復旧作業が常態化しています。また、管制塔から各施設の様々なライフライン設備と連動している構造のため、故障の要因も非常に複雑なものとなっています。共同溝の配線や天井裏の配管を知り尽くした**知識・経験のあるスタッフを配置**することで、当グループでしかできない応急対策を実施します。
- ・緊急度・重要度に応じた判断基準を定め、利用者からの要望事項・東京都との協議も踏まえながら柔軟に対応します。
- ・修繕案件が発生した場合、緊急時を除き、休館日や予約の入っていない空き時間帯を利用します。作業に起因する音や振動等にも配慮して日程調整を行い、快適な利用環境を確保します。



予防保全を基本としたきめ細やかな作業の実施

①作業日程の設定

- ・点検や修繕作業等の日程は、**事前にグループ内及び東京都と調整**します。特に、停電を伴う点検・作業は、業務に影響が出ないよう、**事前周知の期間を十分に設定**します。

②迅速な営繕作業

- ・設備保守業務は「予防保全」を基本に展開しますが、トイレやシンクからの漏水復旧や電球交換等の作業には迅速に対応します。特殊な交換部品等が必要となり復旧に時間を要する場合には、進行状況を掲示するなど、**説明責任**を果たします。



修繕作業の様子(本施設)

③点検パトロール・設備点検の実施

- ・「安全チェックシート」を用いた設備員による点検パトロールを毎月実施します。複数人の目で不具合箇所の発見に努め、必要性、優先順位を考慮したうえで、効率的な修繕を実施します。
- ・床のささくれのチェックや躯体確認など、用具を含めてきめの細かい点検作業を実施してリスクを厳しく評価し、早めの補修、部品交換等の対応を行います。
- ・また、設備員の視点による危険箇所や注意を要する作業について取りまとめ、作業時の事故防止に努めます。



点検パトロールの様子(本施設)

④4期17年の管理経験を生かした対応

- ・これまでの管理業務経験を生かし、本施設の施工業者とのネットワークが構築されているため、修繕内容によって施工業者と地元の業者を使い分けて対応できる体制を整えています。また、屋内球技場プロジェクターの部品等の在庫を確保し、緊急的な修繕に対応する準備を整えています。
- ・本施設で複数回発生している**浸水被害**に対し、これまでの経験を踏まえ、止水板の設置による被害の未然防止に努めるとともに、浸水した場合にも、浸水箇所の確認・清掃、設備類の稼働確認等の復旧作業を速やかに行い、**その後の施設利用への影響を最小限に抑えています**。

大規模改修及び東京都施工工事への対応

- ・工事日程等については、可能な限り早期かつ確実な把握に努め、休館・休場日の設定の要否を十分検討のうえ、特に**大規模大会等の優先性を精査**しながら、調整を実施します。
- ・大規模改修工事においては、利用団体の意向や競技別の利用形態を熟知しているスタッフが周辺住民等の意見も踏まえ工事内容に反映できるよう、打合せに参加します。

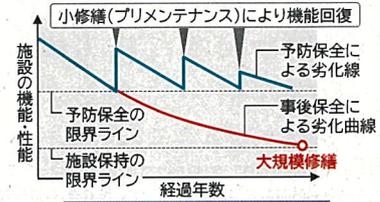
事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 2 予防保全の展開

### 大規模修繕を抑制する仕組み

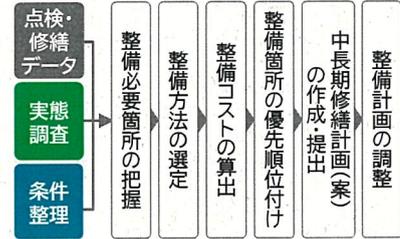
- ・修繕期間の長期化や代替機能確保のための経費負担、休館等に伴う一時的な施設使用制限などの影響を生じさせないため、当グループでは日常点検等を通じて施設・設備の異常を早期に把握し、不具合等の深刻化を未然に防止する「**予防保全**」を展開し、**大規模修繕の回数の抑制**と高い水準での**施設機能の保持**を図ります。



- ① 大規模修繕の回数減
  - ② 高い水準で施設機能を保持
- 予防保全による施設機能維持とその効果

### 修繕計画の立案方法

- ・日常点検や定期点検の記録、各種警報・故障・不具合の記録を貴重なデータとして活用します。
- ・収集したデータを解析して、**主要設備の機能・性能の現況及び劣化状況等を把握**し、必要な修繕・部品交換等の時期を整理して**日常の保身に立脚した中長期的な修繕計画**を立案します。
- ・使用状況、自然環境により加わった劣化状況とその原因を統計的に分析して、**故障出現の頻度予想**として活用します。



中長期修繕計画策定のフロー

### これまでの修繕実績

- ・当グループでは、施設の長寿命化や利用者の利便性向上のために各種修繕工事を行ってきました。
- ・具体的には、施設老朽化及び利便性向上のための各施設の内装改修工事を行ったほか、台風等による浸水被害を受けやすい立地にある施設であることを踏まえ、**防水塗装改修や止水板設置工事等**を進めてきました。
- ・これまでの指定管理者としての経験を生かして、今後も施設の状況及び利用者ニーズを読み取りながら施設の修繕・工事・備品の更新を行ってまいります。

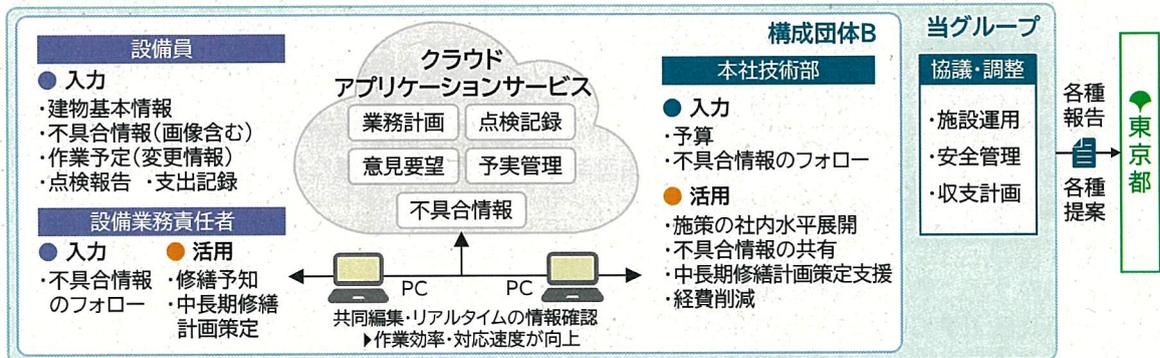
年度	実施内容	金額(千円)
令和元年	第二球技場・補助競技場人工芝修繕	
	管制塔ほかITV更新工事	
	陸上競技場シャッター修繕	
ほか 合計 100 件		
令和2年	第二球技場改修工事	
	軟式野球場改修工事	
	屋内球技場監視用ITVの設置工事	
ほか 合計 85 件		
令和3年	補助競技場改修工事	
	トレーニングルーム改修工事	
	陸上競技場ほか止水板設置	
ほか 合計 94 件		

本施設における工事・修繕等の実績

## 3 メンテナンス情報の共有・活用

### メンテナンス記録を情報資産として活用

- ・クラウドサービスを活用した機器の設置年月日・経過年数・修繕記録・点検記録等の情報に関するトータルデータベースの構築・活用により、**予防保全の展開や中長期修繕計画の提案**など、**より一層のライフサイクルコスト削減**に貢献していきます。
- ・トータルデータベースを基に、現場の設備員と構成団体Bの本社技術部スタッフとの間で共同編集及びリアルタイムでの情報確認をすることにより、作業効率の向上及び迅速な対応を図ります。
- ・利用者や都からの意見・要望についても一元的に管理するとともに、正確な情報を迅速かつ適切に共有して、業務に反映していきます。



メンテナンス情報の活用フロー

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(1) 危機管理及び災害対応

**あらゆるリスクを想定し、迅速かつ適切に対応できる体制を整備します**

- 業務における潜在リスクの抽出・分析・評価を行い、リスクマネジメント体制を整備します
- 消防署等と連携した防災訓練を実施することで、大規模災害時に機能する組織づくりをします
- 周辺地域・施設とも連携し、帰宅困難者の一時滞在施設の役割を確実に果たします
- 全スタッフが救命活動を行えるように普通救命講習の受講を義務付け、定期的な研修を実施します

**1 リスクを軽減または未然に防ぐための取組**

**リスクマネジメントの徹底**

- ・施設運営に当たって想定される、**人為的な事件・事故、設備不良等による事故、自然災害、火災、テロ**などについて、未然の防止や被害の最小化に向けた各種取組を進めていきます。
- ・東京都が設置した防犯カメラについて、「東京都が設置する防犯カメラの運用に関する要綱」に基づき適正に運用するとともに、必要に応じて**独自にカメラを設置**し、事故防止体制を強化します。
- ・スタッフ・警備員による**頻繁な巡回**を通じ不審者、不審物の早期発見をします。また、毎月「**安全点検パトロール**」を実施し、危険な箇所の確認・整備を行い、事故を未然に防ぎます。

**周辺施設・関係団体との連携**

- ・本施設は防災公園である駒沢オリンピック公園内に位置しているため、平常から公園協会との連絡体制を構築し、災害時の協力体制の想定や情報交換等を進めます。
- ・**自衛消防技術認定証を有するスタッフを含む自衛消防隊**を組織し、玉川消防署の指導の下、公園協会を含めた**全職員・スタッフが参加する防災訓練**を毎年実施します。



災害時仮設トイレ設置訓練の様子

**AED講習会の受講と定期的な救命訓練の実施**

- ・全職員がAEDを適切に取り扱えるよう、玉川消防署などの協力を得て、(公財)東京防災救急協会が実施する「**普通救命講習**」を全職員に受講させ資格を取得します。
- ・緊急時に適切な対応が取れるよう、状況把握の方法から救急車の手配・誘導までを簡潔にまとめた「**携帯カード**」を作成し、**全職員に常時携行**させます。

**事故に備えた保険の加入**

- ・「**施設所有管理者賠償責任保険**」(身体：1名7,000万円、1事故10億円、財物：1事故500万円)に加入し、万が一の事故等により、施設の利用者等に損害を与えた場合に備えます。
- ・**昇降機賠償責任保険**や**漏水による損害の補償**等の施設所有管理者賠償責任保険のオプション補償を付帯することにより、想定される様々な事故に備えます。

**2 緊急時・災害発生時の対応**

**東京都地域防災計画に基づく災害時の対応**

- ・本施設が「東京都地域防災計画」に基づく「**大規模救出救助活動拠点候補地(ヘリコプター離着陸候補地)**」「**医療機関近接ヘリコプター緊急離着陸場候補地**」に指定されていることから「災害等対応マニュアル」を整備し、平常から準備をします。
- ・また、本施設は「東京都帰宅困難者対策条例」の「**一時滞在施設**」に指定されているため、「都立施設を活用した一時滞在施設の運営マニュアル(東京都総務局総合防災部)」に基づく代表団体Aの「**帰宅困難者のための一時滞在施設の運営**」に則り、適切に運用します。
- ・災害や事故発生時には、代表団体Aが策定する「**災害対策要綱**」及び「**事故発生時報告等事務処理要綱**」に基づき、**所長に情報を集約**し、東京都や関係機関への連絡・通報等を迅速に行います。
- ・災害発生後、直ちに建物被害状況を把握し、施設内の危険区域の設定を行うことで、**二次災害を未然に防ぐ**とともに、現地対策本部や一時滞在施設としての機能確保に努めます。
- ・災害や感染症クラスター発生時等の緊急時における事業継続力を強化するため、近隣に在住する職員の勤務時間外参集体制を構築するなど、代表団体Aの**事業継続計画(BCP)**を充実します。
- ・非常連絡網は常に最新の情報に更新するほか、安否確認システムなどを活用し伝達能力の維持を図ります。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(2) 地球環境への配慮

「スマートエネルギー都市」・「ゼロエミッション東京」の実現に寄与するため、公共施設としての率先した環境配慮に努めます

- 東京都の環境施策に協力するとともに、「HTT(減らす・創る・蓄める)」の取組を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します
- 積極的な環境対策を実施し、環境課題解決に向けた施設運営を行います
- スポーツ施設として、環境対策を通じ、パラスポーツの発展に寄与します



1 東京都の施策等を踏まえた環境配慮の取組

本施設の取組を通じて、東京都の環境施策に協力

- ・ 東京都は「東京都環境基本計画」、「ゼロエミッション都庁行動計画」を策定し、緑の創出・保全や、エネルギー消費量の抑制、2050年CO<sub>2</sub>排出実質ゼロの実現に向けた取組を行っています。
- ・ 政策連携団体である代表団体Aを中心とし、当グループはこれまでも東京都の施策に貢献してきました。今後も指定管理者として、東京都の施策や東京都環境審議会の動向を踏まえ、積極的に環境対策に取り組み、未来の東京を見据えたサステナブル・リカバリーの推進に貢献します。

地球環境への配慮・SDGsの具体的な取組

- ・ 都立スポーツ施設の指定管理者として、東京都が推進する「HTT(減らす・創る・蓄める)」の取組などにより下記の環境対策の徹底を図り、持続可能な社会の実現に貢献します。

環境対策の実施状況の一例

●：関連大 ○：関連

区分	対象名称	検討内容	SDGs 関連ゴール							
			6	7	11	12	13	14	15	
省エネ	エネルギー マネジメント	・ 集中監視システムで各種エネルギーデータを系統別に時間単位で記録 ・ データを解析しエネルギー消費動向を把握	○	●	○	●	●			
	熱管理	・ 負荷の平準化(温度時間の効率)、ヒートパターンの改善 ・ 温度設定の見直し		○	○		●			
	省電力	・ 太陽光発電設備の活用 ・ LED照明の導入 / 照明の間引き ・ 電力契約の見直しと使用電力量の管理適正化		●	○		●			
	節水	・ 節水型シャワーヘッドの導入 ・ 散水としての雨水利用 ・ 屋上緑化において水分保有量により散水調整する装置を設置	●	○	○		○	●		
	省資源 (ペーパーレス 化)	・ コピー用紙使用量の低減(裏紙の積極的な利用) ・ 両面印刷、印刷前のプレビュー確認等の徹底								
		・ 会議資料の電子化によるコピー用紙使用量の低減		○		●	○		●	
		・ 請求書のオンライン受領システムを導入 ・ クラウドサービス導入により、各施設への予定表等の配布物を削減								
	ZEV用充電 設備の導入	・ ZEV普及に貢献するため、充電設備の導入を東京都と前向きに協議		●	●		○			
	省エネ キャンペーン	・ 定期的に省エネキャンペーンを展開し、目標数値を設定		●	○	○	●			
	無駄の排除	・ 施設使用状況に応じた照明・空調・給湯の停止		●	○	●	●			
廃棄物	排出量削減、 リサイクル	・ 館内で回収したごみは集積所で再分別し、リサイクル率を向上 ・ 利用者に対し、館内掲示により分別への理解を促進			○	●	●	●	●	
	グリーン調達 の徹底	・ グリーン購入法に基づく商品や同法に沿って環境配慮がされている適合商品の購入を推進			○	●	○			
調達	使用電力の再生 可能エネルギー 化	・ 「東京都グリーン購入ガイド」水準1の供給電力量の30%を再生可能エネルギー電力にすることを旨とする		●	○		○			
	植栽 緑化	緑化推進	・ 敷地内の緑化推進 ・ 緑のカーテンの設置					●	●	
環境配慮型薬 剤		・ 樹木の消毒液や清掃業務で使用する洗剤等に関しては、環境に配慮した製品を使用				●	○			

- ・ 「ふくのわプロジェクト」に参画し、利用者の不要な衣類をリユースできる場を施設内に設置することで、焼却処分しないことによるCO<sub>2</sub>排出抑制のほか、リユース専門業者の買い取り等の収益金をパラスポーツ競技団体に寄付をし、パラスポーツの発展に寄与していきます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(3) 個人情報の保護

**厳格な個人情報保護マネジメント体制を整備・運用します**

- プライバシーマークを取得している団体として、個人情報管理体制を自主的に確立します
- 採用時から退職後まで、個人情報に関する守秘義務の遵守を徹底します
- 情報漏えい等の緊急時には、代表団体Aを中心に迅速に対応し、二次被害を防止します
- 個人情報を含む重要情報保護のため、情報セキュリティ体制を構築します



**1 個人情報保護のマネジメント体制の確立**

**本施設における個人情報の取扱いと管理体制**

- ・本施設では、施設利用申込、団体登録申込及び事業参加申込などにおいて、氏名、生年月日、年齢、性別、住所、電話番号等の個人情報を取り扱います。
- ・代表団体A及び構成団体Bは、(一財)日本情報経済社会推進協会から**プライバシーマーク**を取得しており、特に代表団体Aは、「個人情報保護方針」、「個人情報保護に関する規程」及び「個人情報保護要綱」を整備し、厳格な個人情報の管理体制を自主的に確立します。
- ・構成団体Cについても、代表団体Aとの一体的な共同事業を通じて個人情報を管理しています。
- ・個人情報保護マネジメントシステムを確立し、各業務責任者が日常的に検証を重ねるとともに、法律・条例、規格等の改正に適切に対応するなど、**継続的な改善と適正な運用**を図ります。



**2 個人情報保護を含む情報セキュリティ体制の構築及び守秘義務を徹底するための取組内容**

**情報セキュリティ体制構築の具体的な取組**

**守秘義務を徹底するための取組**

- ・個人情報の適正な管理運用を図るため、**新任研修や全職員向けのeラーニング研修・標的型メール対応訓練**を毎年実施するほか、必要に応じて臨時研修を行います。
- ・「職員就業規則」に則り、採用時に誓約書を締結し、退職後も含めた守秘義務の遵守を徹底します。

**緊急時の迅速な対応**

- ・万が一個人情報漏えい等の緊急事態発生の際は、各規程等に従い、適切かつ迅速に対応します。
- ・二次被害の防止のため、事実関係、発生原因及び対応策を遅滞なく公表するとともに、東京都及び関係機関に報告します。

**3 情報公開について**

- ・「情報公開条例」及び代表団体Aが定める「情報公開要綱」に基づき、情報公開を進めます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

(4) 感染拡大防止

「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」を踏まえ、施設の特성에応じて、柔軟に対策を講じていきます

- 東京都からの要請も踏まえ、利用者に安心してご利用いただける施設運営を実施します
- 職員・スタッフ向けの感染対策を講じ、都民サービスに支障のないよう業務に取り組みます
- 感染者発生時の対応を迅速に実施し、感染の拡大を抑制するとともに、感染者発生時は関係機関に速やかに報告します



1 安心してご来館・ご利用いただける施設・事業運営

利用者向けの対策

- ・「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」や各競技別のガイドラインに記載されている消毒・換気等の基本的な対策に加え、3つの「密」の解消や、オンライン事業の積極的な開催など、高齢者・障害の有無に応じたきめ細やかな対策・運営を講じていきます。
- ・東京都の「TOKYO ワクション」への積極的な協力、時短要請等にも柔軟に対応するなど、感染拡大の抑制に貢献することで、全利用者が安心してご利用できる施設運営を行います。
- ・団体利用では、主催者との綿密なコロナ対策の打合せ、主催者が東京都に提出する「感染防止安全計画」作成時のアドバイスなど、催物開催の準備から本番までの徹底した感染予防をサポートします。
- ・即時検温可能な非接触型の検温器設置、名前や年齢等を自動保存できるWEB版体調管理チェックシートを導入したことで、ストレスなくスムーズにご利用いただける環境を整えています。



コロナ対策の一例



WEB版 体調管理チェックシート

各施設利用者の特性に応じた具体的な取組の一例

対象利用者	具体的な取組例
団体利用者	SPOPITA バーチャルツアーや Facebook を活用した施設視察、大会主催者とのコロナ対策打合せ、諸室等へのサーキュレーター設置、「感染防止安全計画」作成時のアドバイス等
トレーニングルーム・スタジオ利用者	トレーニングマシンの分散配置、一時入場者数の制限設定、HPでの混雑ランプによる混雑状況の発信、アルコール消毒用タオルの配布、館内放送はコロナ感染拡大予防の内容を適宜放送、マシンの間隔を極力広くとり接近しないようなレイアウト等
事業参加者	オンライン事業、YouTube 配信、オンライン決済、着席位置の工夫による密集・密接の防止等

職員・スタッフ向けの対策

- ・マスクの着用等の基本的な対策の徹底に加え、テレワークや時差通勤を実施することで感染リスクを低減していきます。万一の場合には、代表団体Aの各施設と連携した事業継続計画（BCP）を活用し、都民サービスに支障のないように業務を遂行します。
- ・また、維持管理の視点から、競技備品を消毒する場合など、色落ち等劣化の危険性がある備品の消毒作業時における注意事項等を職員・スタッフに周知徹底していきます。

感染者発生時の対応

- ・利用者で感染者が発生した場合、主催者と協力して対応を協議するとともに、体調管理チェックシートを用いて当該感染者の行動履歴を追いながら、消毒作業をし、必要に応じて同時間・同利用場所にいた利用者へ連絡し、感染拡大の抑制に努めます。
- ・右表のとおり、事前に東京都に報告する事項を整理することで、感染者が発生した際に、東京都や利用者に必要な情報が迅速に届くようにしています。

感染者発生時の報告事項(8/16時点)

都に報告する事項	都への報告方法		
	メール	電話 ※1	館HP掲載
①施設職員が陽性と判明した場合 ※3	○	○	○ ※2
②利用者が陽性と判明した場合	○	-	○
③施設利用者に陽性者がでたことが報道される、または、された場合	○	○	○
④施設でクラスター(概ね5名程度)が発生した場合(発生する恐れがある場合含む)	○	○	○
⑤感染した施設職員と接触した利用者が濃厚接触者となった場合など影響が大きい場合	○	○	○

※1 平日は施設管理担当者(都庁)、土日祝日は施設管理担当課長の緊急連絡先  
 ※2 出勤又は利用から2日以内の発症又は陽性判明の場合のみ  
 ※3 施設職員の陽性判明に係る東京都への報告は、別添「報告票」による。

- ・また、感染者が発生した場合、令和4年8月に開設された東京都陽性者登録センター等、陽性を確定した機関名を含めて、東京都に報告するなど、時流に合わせた対応を行います。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 東京都の施策に最大限対応するとともに、経費の抑制と収入増の見込みにより指定管理料の縮減に貢献します

- 条例改正等に伴う利用料金改正や受益者負担の考え方により、収入増を図るとともに、コストの見直しにより、指定管理料の縮減に努めます
- 計画以上に増収となった場合、管理運営費やスポーツ事業運営費に充当します
- 収支赤字が発生した場合でもグループ全体で補填し、責任をもって管理運営にあたります



### 1 収支計画について

#### 収支計画作成にあたっての基本的な考え方

##### (1) 適切な収支計画を策定し、「都民スポーツの聖地」としてスポーツ推進に貢献

- ・ 東京2020大会はコロナ禍という特殊な環境下で開催されましたが、アスリートが活躍する姿は、都民・国民に勇気と感動をもたらしました。次期指定管理期間は、この機運を逃さずスポーツ振興に生かし根付かせていくために非常に重要な時期と考えています。
- ・ 一方、社会情勢として新型コロナウイルス感染症による大規模大会の中止、行動規制の呼びかけだけでなく、海外生産品の出荷減少等に伴う原材料費の高騰の影響、世界情勢に影響を受けた燃料費の高騰という状況に直面しており、施設運営を行うにあたり、**安定的な収益の確保及び経費の抑制は大変厳しい状況**にあります。
- ・ 本施設の施設利用料に関し条例改正が令和5年4月から施行されるため、公平性を鑑み**受益者負担の観点を明確に持ち、収入増の見込みを打ち立てます**。かつ支出も政策連携団体としてコンソーシアム一丸となって見直しを行い、**参考価格539,830千円**に対し**539,830千円と、参考価格と同額に抑えた提案額**としました。
- ・ コスト削減と効率的な執行により、指定管理料を圧縮することが都民負担軽減の上で非常に重要なテーマと認識しています。経費の執行に当たっては、これまでの経験と民間のノウハウを最大限活用し、**効率的な運用によりコスト削減**を図ります。他方で、施設を安全・安心に利用できるよう万全の体制を整え、都民に施設提供することが極めて重大な責務と考えます。また、開所から約60年が経過し新旧複数の施設を抱える総合スポーツ施設としての特性や利用団体特有の状況に合わせ、緻密な配慮を行い、整備・運用を行っていくことも重要な課題であり、そのために必要な経費を適切に反映しました。
- ・ 収支計画については、個別に下記の考え方により作成しております。次期指定管理期間は上記のとおり非常に重要な時期でありかつ大変厳しい期間であることから、都の政策連携団体として、本施設のほか複数施設の管理運営を通じ、今まで以上に都と連携を強固にしていきます。さらに「東京都スポーツ推進総合計画」や「TOKYOスポーツレガシービジョン」のけん引役であることを使命とし、その重責を果たし「スポーツ都市東京」の実現に寄与していきます。



収支計画におけるスポーツ振興推進

##### (2) 綿密な利用調整により稼働率を回復し、受益者負担の観点から収益増を計画

###### 【専用使用施設】

- ・ 本施設は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和4年度に入っても選手の感染などの理由により、**無償キャンセルになる大会等が発生し厳しい収入状況**にあります。
- ・ しかし、4期17年にわたり培ってきた団体とのネットワークや運営ノウハウ等により、専用使用の稼働率はコロナ前の水準に戻りつつあります。
- ・ 専用使用においては、これまでの管理運営実績の中で、利用団体との綿密な調整や利用促進等、不断の努力の蓄積により、稼働率の向上を図ってきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅な減収となりましたが、予約が取消となった利用枠の早期開放等、これまで蓄積してきたノウハウを生かすとともに、当グループ構成員が管理する他の施設と緊密な調整を図ることで**稼働率を高め、コロナ禍以前の収入額に回復**させていきます。

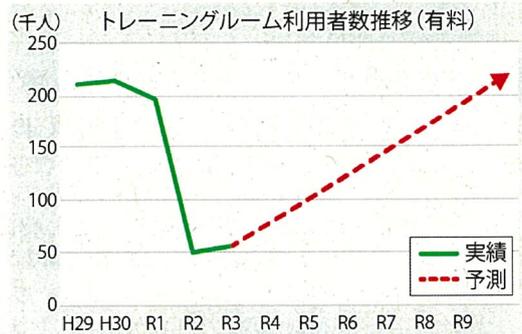
事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

提案課題6〔収支計画〕

【個人使用施設】

・トレーニングルームについては、これまで地道に一つ一つサービス改善を重ねることで、一人一人の利用者ニーズを的確に掴み、利用者数が着実に増え、多くの都民に利用される施設になりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で大幅な利用者減となり、現在はコロナ禍前の5割程度の利用者数となっています。今後は、子供を対象とした「ヒップホップダンスアカデミー」など新たなターゲットを狙った事業展開やスタジオプログラムの拡充を図ることで、これまで以上に**利用者ニーズを的確に捉え、都民に愛される施設を目指し収益回復を図ります。**



【利用者サービス事業】

- ・本施設の新専用駐車場は少し奥まった場所に位置するため認知度が低く、必ずしも利用が多くありませんでした。そのため、ラッピング広告の設置など地道に周知を行い、認知度を高めることで利用者を増やしてまいりました。これらの**駐車台数増による収益増を収支計画に反映**しました。
- ・本施設の駐車場は周辺の駐車場の料金改定に合わせ、**金額の適正化と収益増を図るため料金の見直し**をしています。また、料金の見直しは行いつつも、これまでと同様に施設利用者への減免措置を行うことで、大会運営を滞りなく実施できるようにサポートしてまいります。
- ・本施設に設置する自動販売機については業者と綿密な調整を行い、季節に応じた商品を提供することで少しずつ売り上げを向上させてきました。コロナ禍において大幅な減収となりましたが、今後は利用者が少しずつ戻ることを想定し、収益増を収支計画に反映しました。

(3) 不断の営業努力と豊富な知見に基づく経費削減等

【燃料費高騰】

・世界情勢に影響を受けた燃料費の高騰により、令和4年2月から現在までに**電気料金における燃料調整費が、ガス料金の調整単位料金が** 上昇しています。令和4年2月から同年8月までの上昇幅を本施設の年間想定使用量に換算すると、**電気料金で、ガス料金で** の費用増に相当します。

【維持管理・修繕対応等】

・開所から約60年を迎え、老朽化した建物・設備・機器が多く日々の修繕や予防保全が欠かせません。また、改築や改修を終えたばかりの新しい施設についても安定稼働への途上であり、様々な追加整備が必要となっています。そのため、必要な整備は行いつつも**中長期的な計画を立案し優先度の高いものから補修**を行うなどメリハリのある維持保全を行うとともに、計画を上回る収益が見込まれた場合には修繕費用の原資とする等、指定管理料の縮減を図ります。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 提案課題 6〔収支計画〕

### 2 指定管理料の算定

#### 与件整理

#### (1) これまでの指定管理料と参考価格の比較

### 3 支出削減および収益向上の取組

#### 経営努力による経費削減と収入増加

- ・参考価格が提示されたことにより、収支において抜本的な見直しを行いました。

また、利用率や収入規模の回復のほか営業努力に加え、利用料金などの適正化により収入増を見込みました。これにより、**参考価格 539,830 千円と同額を指定管理料として提案**します。

#### 支出削減策

下記方策等により、経費削減を図ります。

##### ①契約方法の工夫

- ・委託業務（スポーツターフ）の運営体制の見直し
- ・リース契約の整理
- ・初度調弁等、高額物件や大量に物品購入が必要になる場合は、入札や見積競争を行う等、調達単価を低減し経費を随時削減
- ・調達方法を工夫し費用削減を図るとともに、構成団体Bによる高度で専門的な民間のノウハウを最大限生かし、低コストで高品質なサービスを提供し経費を随時削減

##### ②エネルギーマネジメントとH T T 推進

- ・エネルギー使用量の監視やこまめな室温確認と空調管理により光熱水費を継続して削減
- ・太陽光発電パネルを活用し光熱水費を継続して削減
- ・灌水の活用により光熱水費を継続して削減
- ・古い灯具のLED化などにより光熱水費を継続して削減

##### ③事業内容の見直し及びD X 推進

- ・既存事業内容の見直しを行い再構築し費用対効果の高い事業を実施 削減
- ・D X 推進による会議のW E B 化などの取り組みにより会議費や旅費を 削減

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

## 提案課題6〔収支計画〕

### 収益向上策

下記方策等により、の収益向上を図ります。

#### ①施設利用料収入増

- ・専用利用においては、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ利用を利用団体とのきめ細かな調整や感染症対策の徹底により、令和3年度実績から増とし、コロナ禍前の水準までに力強く回復させます。
- ・アマチュアスポーツの実施拠点として利用しやすい環境を維持すると共に、受益者負担の原則を反映し、適切な料金設定により現行料金での収入見込みよりの増収を図ります。
- ・個人利用においては、利用者ニーズに沿った整備と満足度の高いサービス提供や新たなスタジオプログラムを展開します。これにより段階的に利用者数を回復させ、令和3年度実績からと、複合的に収益を回復させます。また、料金改定により  
の増収を図ります。

#### ②利用者サービス事業等収入増

- ・駐車場の認知度上昇や近隣駐車場とのバランスを考慮した料金改定により令和3年度実績よりの増収を図ります。
- ・スポーツドリンクの提供や用具の販売等、利用者ニーズに沿ったサービスを提供することにより令和3年度実績より増の増収を図ります。
- ・その他指定管理料への繰入額として令和3年度実績より増の増収を図ります。

### 4 収支赤字が生じた場合又は収支計画を上回る利益が発生した場合

#### 責任を持った管理運営と公益性の確保

##### ①収支赤字が生じた場合

- ・損失が生じた場合は、**グループ全体で赤字分を補填**し、指定管理期間は公の施設の指定管理者として責任を持って管理運営にあたります。

##### ②収支計画を上回る利益が発生した場合

- ・公益法人である代表団体Aが収益業務のスキームを担うことにより、計画を上回る収益が上がった場合でも予算全体の調整を図り、構成団体各社の売上にそのまま繰り入れず、施設の補修修繕、競技用備品の更新、障害者へのサービス向上など、利用者サービス向上策に還元していきます。
- ・自主事業及び利用者サービス事業の収入は全額繰り入れることで、指定管理料を縮減します。

##### ③公益性の確保

- ・公益法人である代表団体Aが収益業務のスキームを担うことにより、公益性を確保します。
- ・東京都の政策連携団体である代表団体Aが各施設の優先受付業務を担い「東京都スポーツ推進総合計画」に合致するよう調整を行う事により、当面の利益の確保ではなく「公益性」を重視し、スポーツ振興に寄与します。

#### (参考) 不確定要素について

- ・燃料費について現在の上昇傾向が続いた場合は、令和5年度は電気料金の燃料調整費はさらに以上(年間換算以上増)、ガス料金調整単位料金はさらに(年間換算増)の上昇も予測されます。この場合、**合計額**が毎年さらに負担額となる  
**可能性**があります。
- ・令和3年度にキャンセルとなった施設利用料金や個人使用者の減により減収となった額は計画額からの減収となります。収入計画の基礎算定額は感染症拡大による利用制限等を行っていない前提の数値としていますが、感染症拡大の状況が悪化した場合には、この減収の可能性が不確定となります。
- ・光熱水費は**本施設支出の**を占める大きな項目であることから、不要な照度を下げる、空調の小まめな調整など、細かな努力を積み重ねることで支出の圧縮に努めますが、令和5年度当初水準や令和6年度以降高騰が続くなど、不確定要素が発出した場合にはあらためて都と協議させていただきます。

事業者・団体名

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

# 提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

## (1) 支出の計画

単位：千円

項目		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員								
	臨時職員							アルバイト、派遣職員、非常勤職員等	別紙1積算内訳①
	人件費計(A)								
	光熱水費							電気・ガス・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	消耗品費等							消耗品、備品、印刷製本、原材料等	別紙1積算内訳③
	役務費							電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委託費(維持管理費等)							設備保守・清掃・警備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	修繕費・工事費								別紙1積算内訳⑥
	賃借料							リース料等	別紙1積算内訳⑦
	その他							諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑧
小計									
間接費								管理運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)	
合計									
消費税									
管理運営費計(B)									
事業費								スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業に係る事業費	
間接費								<small>スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業運営に伴う本社等の経費(人件費を含む。)</small>	
消費税									
スポーツ振興事業費計(C)									事業計画書 3-1-(1)(2)
支出合計(D=A+B+C)									



提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

(4) 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

① 人件費積算内訳

単位：千円

--

② 光熱水費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
電気(高压)						
電気(低压)						
ガス						
水道						
燃料						
合計						

③ 消耗品費等積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
什器備品費						
消耗品費						
印刷製本費						
新聞図書費						
合計						

④ 役務費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
通信運搬費						
保険料						
手数料						
合計						

⑤ 委託費(維持管理費等)積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
	内訳は提案課題6 別紙2「⑤委託費(維持管理費等)積算の内訳」のとおり					

⑥ 工事請負費・修繕費積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
修繕費						
工事請負費						
合計						

⑦ 賃借料積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
入退場管理システム						
磁気カード確認機						
トレーニングルーム機器						
トレーニングルームシューズロッカー						
AED						
印刷機						
シュレッダー						
貴重品ロッカー						
弓道場看的板						
現金回収機						
合計						

⑧ 管理運営費・その他支出積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
会議費						
旅費交通費						
租税公課						
諸会費支出						
雑支出						
合計						

⑨ 体育施設利用料金収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
陸上競技場						
屋内球技場						
体育館						
第一球技場						
第二球技場						
テニスコート						
補助競技場						
軟式野球場						
硬式野球場						
弓道場						
会議室A・B						
多目的会議室						
弓道場(個人)						
トレーニングルーム						
合計						

※ ⑨体育施設利用料金収入の積算補足資料

⑩ 管理運営費・その他収入積算内訳

単位：千円

項目	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
受取光熱水費						
雑収入						
合計						

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
1. トレーニングルーム運営業務			
2. 陸上競技場認定品の点検			
3. 清掃業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常清掃・スタンド清掃</li> <li>・ 定期清掃・ガラス清掃</li> <li>・ トレーニング定期清掃</li> <li>・ 体育施設照明器具清掃</li> </ul>		
4. 害虫駆除業務			
5. 電気設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高圧変電設備点検</li> <li>・ 蓄電池設備点検</li> <li>・ 構内電話交換設備保守点検</li> <li>・ 体育館アリーナ音響設備保守点検</li> <li>・ 体育館他ITV設備保守点検</li> <li>・ 電気時計設備保守点検</li> <li>・ 体育館大型ディスプレイ設備保守点検</li> <li>・ 陸上競技場大型映像設備保守点検</li> <li>・ 硬式野球場、第二球技場電光表示板設備保守点検</li> <li>・ 体育館、屋内球技場照明制御装置設備保守</li> <li>・ 園内外灯具清掃</li> </ul>		
6. 機械設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陸上競技場ボイラー等保守点検</li> <li>・ 体育館・屋内球技場冷温水発生機保守点検</li> <li>・ 空調設備及び陸上競技場冷凍機設備保守点検</li> <li>・ 乗用昇降機設備保守点検</li> <li>・ 管制塔加圧送水設備保守点検</li> <li>・ 循環ろ過機他保守点検及び公園流水池機械運転</li> <li>・ ビル衛生空気環境測定</li> <li>・ 管制塔受水槽、雑用水槽清掃</li> <li>・ 污水管、污水雑排水槽清掃</li> <li>・ 水質検査</li> <li>・ 管制塔池清掃</li> <li>・ シャッター点検</li> <li>・ 体育館バトン昇降機点検</li> <li>・ 体育館高所作業用昇降機点検</li> </ul>		
7. 監視制御設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央監視制御装置及び自動制御設備保守点検</li> </ul>		
8. 防災設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防用設備及び拡声設備保守点検</li> <li>・ 自家発電機設備保守点検</li> </ul>		
9. 建築設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動扉設備保守点検</li> <li>・ 建築物等定期点検</li> </ul>		
10. 機械警備設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物等機械監視</li> </ul>		
11. スポーツターフ・樹木等維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 芝生フィールド等保護管理</li> <li>(2) 樹木剪定・除草</li> <li>(3) 花壇等管理</li> <li>(4) 屋内球技場屋上緑化年間維持管理</li> </ul>		
12. 防火対象物等点検			
13. 冷水器点検			

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
14. 室外機洗淨			
15. 緊急対応経費			
16. 体育館アリーナリフター 点検			
17. 廃棄物処理			
18. 年度末廃棄			
19. 文書廃棄			
20. トラクター点検委託費			
21. 入退場システム保守			
計			

- ※1 本計画書の作成に当たっては、収支計画書との整合を図ってください。
- ※2 積算に当たり、作業項目の追加・修正や作業頻度の変更を提案する場合等補足説明を要する場合は、別紙補足説明書に具体的な考え方や理由を記入してください。
- ※3 設備等の維持管理業務について、業務委託によらず指定管理者が実施し、委託費がかからない場合は、備考欄に実際にかかる経費を記載してください。
- ※4 作業項目の追加、修正等を行う場合は、本表を適宜修正してください。